

令和7年3月13日

1. 出席議員

議長	吉川里己
1番	古賀珠理
3番	毛利清彦
5番	江口康成
7番	朝長勇
9番	上田雄一
11番	山口幸二
13番	石橋敏伸
17番	山口昌宏
19番	杉原豊喜

副議長	松尾初秋
2番	山崎健
4番	中山稔
6番	吉原新司
8番	豊村貴司
10番	古川盛義
12番	池田大生
15番	末藤正幸
18番	牟田勝浩
20番	江原一雄

2. 欠席議員

なし

3. 本会議に出席した事務局職員

事務局長	江上新治
次長	奥幹久
議事係長	草場章徳
議事係員	佐々野理子
総務係員	笠原良子

4. 地方自治法第121条により出席した者

市		長	小	松		政
副	市	長	北	川	政	次
教	育	長	松	尾	文	雄
総	務	部	秋	月	義	則
総	務	部	黒	尾	聖	洋
企	画	部	松	尾	謙	一
企	画	部	山	北		太
営	業	部	山	崎	正	和
営	業	部	佐々	木	征	夫
福	祉	部	後	藤	英	明
福	祉	部	馬	場	真	嗣
こ	ど	も	古	賀	龍	一
こ	ど	も	野	口	幸	郎
ま	ち	づ	庭	木		未
ま	ち	づ	弦	卷	一	淳
総	務	課	古	田	香	寿
企	画	政	小	柳	真	代
財	政	課	藤	井	喜	一
農	業	委	木	村	明	友
員	会	事				美
務	局	長				

議 事 日 程

第 5 号

3月13日（木）9時開議

日程第1 市政事務に対する一般質問

令和7年3月武雄市議会定例会一般質問通告書

順番	議 員 名	質 問 要 旨
11	6 吉 原 新 司	1. 道路行政 1) 国道 498 号について 2) 市道閼魔王線について
12	16 松 尾 初 秋	1. 移住・定住について 2. 特定都市河川の弊害について 3. 旧庁舎跡地について 4. 市民体育館の機能強化について 5. ライドシェアの実証実験の結果について 6. マイナンバーカードについて 7. 消防団員の確保について
13	18 牟 田 勝 浩	1. 市長の政治姿勢について 1) 総合戦略について

開 議 9 時

○議長（吉川里己君）

皆さんおはようございます。前日に引き続き、本日の会議を開きます。

日程に基づき、市政事務に対する一般質問を開始いたします。

最初に6番吉原議員の質問を許可いたします。御登壇を求めます。6番吉原議員

○6番（吉原新司君）〔登壇〕

（全般モニター使用）おはようございます。ただいま議長から登壇の許可をいただきましたので、6番吉原新司、令和7年3月定例会一般質問を始めさせていただきます。

一般質問も4日目ということになりましたので、もう前置きは省きまして、早速進めていきたいと思います。

今回の一般質問は道路行政ということで、1つ目に国道498号について、2つ目に市道閼魔王線について、周辺の皆さんのお声を聞き、切実な声を質問へつなげていきたいと思いま

す。

それでは、1つ目の国道498号について。

国道498号とは、鹿島市の国道444号常広交差点を起点とし、武雄市、伊万里市を通り、佐世保市役所前を終点とする一般国道であることは皆さん御存じのことかと思えます。

武雄市においては平成30年9月8日、国道498号若木バイパスが開通しました。それから6年半が過ぎたわけですが、その後、目に見える形での進捗が感じられません。市民の方からも、「若木バイパスで終わりですか」という声も伺います。

若木バイパスの開通以降、この国道498号バイパス整備についてどのように進められているのか、また、令和7年度以降はどのような計画がなされているのか、まずはお尋ねをいたします。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

おはようございます。議員御質問の国道498号の進捗状況でございますが、先ほど御紹介ありましたとおり、平成30年9月に国道498号若木バイパスが開通し、それ以降、武雄市区間につきましては、国道34号の交差点、北方工区と申しますが、その改良工事に伴う用地買収が進められております。

また、国道34号との交差点である二俣交差点から鹿島市までにおいて、新規のルート検討を行うよう国道498号整備促進期成会で令和5年に県へ要望を行い、県は期成会の要望を受け、令和6年に1キロ幅でのルート帯を公表されました。

令和7年度以降につきましては北方工区の工事着手に向けた準備や、武雄市から鹿島市まで公表されたルート帯について、地域の特性を考慮しながら1キロ幅から絞り込みを行い、具体的なルートの検討を進められることとなります。

○議長（吉川里己君）

6番吉原議員

○6番（吉原新司君）〔登壇〕

御説明いただきました。

武雄市においては北方の34号交差点あたりが先に進んでいくのかなと思うところです。

また、二俣交差点から鹿島市までのルートが公表をされているようです。

今の説明を聞いておりますと、北方、橘、塩田、鹿島の整備を何か優先されているように感じるところであります。北方町、橘町においては、水害の際、国道498号が冠水し、通行ができなくなったという経緯もございますので、早急に冠水しないようなバイパスの整備が必要だとは思いますが、塩田、鹿島よりも先に整備していただきたいと思うのが、やっぱり若木バイパスを朝日町方面に延伸していただくことです。

私の地元、朝日町において、この国道 498 号は交通量が多く、事故が多発したり危険な箇所がございます。地元住民の方から、「怖い」「危ない」という声が頻繁に耳に入っています。

その一つが、モニターに出しております繁昌地区の戸坂峠です。「峠」と名前がつくとおり、坂道である上に、カーブが連続しており、度々事故が発生している場所でもあります。この国道 498 号繁昌地区の状況については、平成 31 年 3 月定例会、そして、令和 2 年 6 月定例会の一般質問でも取上げ、事故が起こらないような注意喚起や安全対策ができないかなどの質問をさせていただいております。

そのような中、令和元年 12 月には繁昌地区の公民館前の横断歩道で伊万里市方面から走ってきた車に歩行者がはねられ死亡するという痛ましい事故も発生しました。

モニターに、繁昌地区戸坂峠のカーブ 4 か所の写真を出しております。

令和 2 年 6 月の一般質問で使用した写真が左側、最近の写真が右側です。左右の写真を比較してみると、右側の写真には中央線と外側線の内側に破線がつけられているのが分かると思います。これまで 2 度の一般質問で事故が起こらないような注意喚起や安全対策をと申してまいりましたが、道路に破線をつける程度しかなされておられません。

この破線というのは、追突事故の多い区間で幅員を狭く見せることによる減速効果が期待できるとされているようですが、この戸坂峠において効果が出ているのか疑問に思うところです。この破線がついて事故が減ったという声を聞くどころか、また事故が起きていましたよという声を度々伺います。

次のモニターの写真で分かると思いますが、この破線をつけられた後もガードレールや壁などに車両が追突した形跡が多数残されております。

左上の写真は国道 498 号の道路番号標識、これにぶつかって、もう倒されてしまっております。

左側中央の写真はコンクリートの壁に追突した跡です。

左下の写真は、この場所に自動車が突っ込み横転をしていたという事故現場で、一段積みブロックですけれども新しいものに変えてあります。

右上写真はガードレールの縁に車が接触し、固いガードレールが曲がっております。

右側中央の写真は家屋の石垣に車が突っ込み壊されたため、石垣を新しくされております。ここは当て逃げされたということのようでした。

右下の写真は、電柱、電信柱にも接触した形跡が残されております。

次のモニター写真は、事故により破損した箇所を修理された跡です。

上側の写真は先ほど御紹介した箇所も入っておりますが、コンクリートや石垣、ブロック積みなどが修理された跡で、下側の写真はガードレールが破損したため取り替えられた形跡です。ガードレールにおいては、ほかにも至るところで取替えがなされております。

そこで、武雄警察署にこの繁昌地区戸坂峠一帯で事故がどれぐらい起きているのかお尋ねをいたしました。頂いた事故件数が次のモニターです。過去8年の繁昌区戸坂峠一帯における事故発生状況を表にして表しております。

令和2年6月議会一般質問以降、路面に破線をつけられていますので、令和3年か令和4年には破線がついていたと思います。その令和3年か4年を境に事故件数が減っていれば破線の効果が出たと考えられますが、この数字はどうでしょう。破線の効果が出たと言えないのではないかと思います。

交通課の方は、その年その年の天候でも数は変動するとは言っておられましたが、道路破線のおかげで事故が減っているとは到底言い難い数字なのではないかと思います。

このように事故が減らない状況、市はどのように受け止めておられるか見解をお願いします。

○議長（吉川里己君）

黒尾総務部理事

○黒尾総務部理事〔登壇〕

おはようございます。議員がお示しのとおり、事故件数につきましては設置後10件前後で推移しており、画期的な対策とはなっておらず、道路管理者である佐賀県にさらなる対策ができないか検討をお願いしてまいります。

○議長（吉川里己君）

6番吉原議員

○6番（吉原新司君）〔登壇〕

もうこれは事故多発地帯、魔のカーブといっても過言ではありません。

市のほうでも事故が減らない状況というのは認識をしておられるようです。

次の写真は、杵藤クリーンセンター跡地入り口付近のガードレールの写真であります。写真で分かると思いますが、このガードレールには車両が頻繁に追突をしております。

左上側に2枚写真をつけておりますが、その写真はこのガードレールの裏側の写真になります。相当な高さの絶壁になっていることが分かると思います。

自家用車が衝突してガードレールを突き破ることはないと思いますけれども、この場所は大型トラックの通行が非常に多い道路です。大型トラックであれば、このガードレールに衝突すれば突き破って下に転落することも十分考えられるのではないのでしょうか。国道498号バイパスが整備されればこのような事故の多発は抑えられると、周辺の方々は言っておられます。

しかし、現時点で、先ほど御紹介いただいたように、バイパスの整備の計画、まだこの戸坂峠には全然話も出てきていないような感じですので、いつになるか分からないというふうに皆さん地元の方も思っておられます。

では、違った観点から考えた場合どうなのか。

もし、令和元年、令和3年の水害に匹敵するような災害が発生した場合、伊万里市、唐津市などからの物資の搬入や救援隊受入れなどを兼ねた重要なアクセス道路にはどのルートを考えられますか、お尋ねいたします。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

伊万里、唐津方面からの武雄へのアクセスルートといたしましては、国道498号のほか、県道伊万里山内線、県道武雄伊万里線、県道相知山内線があると考えております。

特に議員御紹介のとおり、国道498号は伊万里市、唐津市からの重要なルートの一つであるという認識でございます。

○議長（吉川里己君）

6番吉原議員

○6番（吉原新司君）〔登壇〕

いろんなルートありはするんですけどね、やっぱりもう馬神トンネルを越えて入ってきても北方町は冠水していたわけですから、唐津方面からだったらやっぱり498号が重要なルートというふうになると思います。そのような戸坂峠、国道498号であるわけです。

そして、先ほど水害の話しましたが、元年と3年の水害の際、災害ごみ集積場として杵藤クリーンセンター跡地が活用されました。

画像にも載っておりますけども、その際、災害ごみの搬入ルートとなったのも事故が多発している国道498号、戸坂峠です。単に交通量が多く事故が多発している場所と捉えるだけでなく、災害発生時、重要な役割を果たす場所でもあるわけです。

そのようなことから、市としても重要なポイントであることを認識していただき、何らかの対応、対策を考えていただければと思うところです。

杵藤クリーンセンター跡地を災害ごみ集積場に活用したことを申しましたが、その際、災害ごみを持ち込む車両で大渋滞が発生したことは御存じかと思います。

また、この冬、積雪、凍結がございました。積雪や凍結に弱いのもこの国道498号、戸坂峠です。冬用タイヤであれば乗用車は辛うじて戸坂峠を上って行きますが、ホイールベースの長いトラックなどは、冬用タイヤを装着していても坂を上りきれなくなったり、下り坂でスリップしたりして立ち往生になって、最悪、通行ができなくなるということも起こる場所でもあります。いろんな問題を抱えている場所でありながら、この1本の道路に頼らざるを得ないのが現状です。そのような問題を回避するには、もう一本別の道路が整備されれば解消できるのではないかと考えます。

しかるべき場所に県道もしくは市道の整備ができれば、国道498号、戸坂峠の交通量減少、

それに伴い事故の減少、また、災害発生時のアクセス道路の充実につながるのではないかと考えますが、いかがでしょう。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

議員御提案の別ルートでの整備となりますと、改めてルートの検討、それから設計、用地補償など、また時間をかなり要すると考えられます。

また、市道での整備となりますと市の負担も大きくなりますので、現段階において別ルートでの整備は考えておりません。

○議長（吉川里己君）

6 番吉原議員

○6 番（吉原新司君）〔登壇〕

答弁いただきましたけれど、確かに道路を新しく整備するということは簡単なことではありません。

しかしながら、今の状況が続くことは、周辺の方々、強い警戒感を持たれております。戸坂峠周辺の国道 498 号バイパス整備着工が見えない状況であるならば、周辺の方々の不安や警戒感を払拭できるような対策、これを考える必要があると思います。

そのような状況を踏まえ、国道 498 号整備促進期成会のほうへ早期の整備を強く要望していただきたいと思いますし、杵藤土木事務所のほうへも打開策の検討をお願いしたいと思います。

そして、市においても戸坂峠周辺を我がことと考えていただき、防災の観点からも見て何らかの対応、対策が取れないかということを考えていただきたいと思いますがいかがでしょう。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

国道 498 号の若木バイパスから現在事業化されています北方工区までの間、要は戸坂峠付近につきましては計画はいまだにございません。期成会におきまして、早期事業化に向けまして強く要望してまいりたいと存じます。

なお、議員御提案の別ルートでの市道の道路計画は、改めて申しますが計画は現在ございません。

それから、杵藤土木事務所につきましては、安全対策についてさらに強く要望してまいりたいと考えております。

○議長（吉川里己君）

6 番吉原議員

○6 番（吉原新司君）〔登壇〕

よろしくお願いしたいと思います。

そして、もう 1 か所、国道 498 号、「怖い」「危ない」という声を聞くのが川上交差点になります。

この交差点は国道 498 号に県道 331 号が合流する交差点となります。この交差点については、以前、牟田議員からも質問がなされていたと思いますが、不満の声を多く聞く交差点であります。

その中で最近よく聞くようになったのが、信号無視をする車が多くなったという声を聞きます。黄色信号や赤信号に変わっているのに交差点に進入してくる車両を度々見かけると。そのような車両と接触事故寸前だったと話される方もおられました。

モニターに赤色矢印をつけておりますように、この交差点は武雄北方インターや国道 34 号側から伊万里市方面に向かう車、それに武雄市街地方面から県道 331 号を通り伊万里市方面に行く車。逆に、伊万里市方面から国道 34 号や武雄北方インターに行く車と、伊万里市側から武雄市街地側に行く車両が、この赤の矢印の部分が特に多いルートになります。

昼間の時間帯はある程度スムーズに流れておりますけれども、朝夕の交通量は、ここは激増するようです。道路は直進が優先でありますので、国道 498 号を行き来する車は、ある程度スムーズに流れます。そのため、若木町方面から来て右折しようとする車、これは直進が途切れない限り右折できません。信号に 5 秒ほど時間差をつけてあるようですけれども、5 秒間の間に右折できる車両というのは数台。県道 331 号から来て、国道 498 号に合流しようとする車も、逆の方向ですね武雄市街地側からも、昼間はスムーズに流れております。

しかし、ここも朝夕は交通量が激増して、30 秒ぐらいの青信号なんですよ。もう 30 秒ぐらいの青信号で通過できる車両以上に、この交差点に集まってくる車両のほうが多いということになっているようです。

そのようなことから、信号待ちの回数が増え、いら立ちなどから信号が変わっても通過しようとする車が多いように感じます。

朝夕は次のモニターのような状況になり、渋滞します。この若木町方面は相当、もう 6 時とか 6 時半なんかは、もう非常に長蛇の列が並ぶ交差点であります。このような朝夕の混雑を起こしている交差点であるということは、市のほうでも認識されておりますか、お尋ねします。

○議長（吉川里己君）

黒尾総務部理事

○黒尾総務部理事〔登壇〕

混雑するのは朝と夕方の時間帯で、多いときには交差点から若木町方面の円照寺まで渋滞

が発生しているという声があることは認識しております。

○議長（吉川里己君）

6 番吉原議員

○6 番（吉原新司君）〔登壇〕

円照寺までという、今、表現がありましたけども、昨日も6時頃、私通ったのですけれども、円照寺よりも先まで並んでおりました。そういう状況であります。

これ一般質問でも取り上げられた交差点ではありますが、結局、問題解決には至っていないという状況です。

矢印信号の設置を要望する声もありましたが、なかなか警察は首を縦に振らないようです。また、三差路交差点に矢印信号というのは通常あり得ないというお話もお聞きしました。

であれば、この交差点の構造を見直し、渋滞緩和、安全な通行につながるような改善が必要ではないかと思うところです。

では、どこをどう変えればこの川上交差点が抱える問題を解消できるのか、ちょっと私なりに考えてみました。あくまでも、例えばということで御紹介させていただきます。

モニターに、例えば1、出しておりますけど、川上交差点に見立てたイラストですね、これ。川上交差点に集まる車両を減らすために、武雄市街地方面から来て国道498号に合流しようとする車を手前で逃がす。逆に、北方町方面から走ってきて武雄市街地方面に行くやつも交差点に入れる前にはけさせると。こういうようなことをすれば交差点に集まる車両が減り、結局、渋滞が若干緩和できるのではないかと思います。

止まれと書いている一時停止部分が危ないのではと思われるかもしれませんが、都会回りでもよく見かける形だと思います。

次、例えば2ですね。

これも北部バイパスみたいに、直進を高架にして、右折、左折をする車は高架の下を通れるようにすれば、信号の必要性もなくなるかも分かりませんし、渋滞の緩和にはすごくつながるんじゃないかと思います。

これ次の、例えば3ですね。

先ほど言いましたけども、国道498号を直進する車両と、若木町方面と武雄市街地方面の県道331号、こっちの往来が一番多いということを言いましたけれども、それならば、武雄市街地方面から、もうこの交差点に入れないで若木町方面とつなぐ県道、もしくは市道、こういう立派なやつがあれば、ここの交差点に集まる車両も減るのではないかと思います。

次のモニター、赤の線で示しております。

これは市道黒尾繁昌線。これをやはり川上交差点の渋滞を避けるために、ここを朝夕、結構通っておられるんですよね。この市道黒尾繁昌線、御存じのとおり道幅も狭く、中央線もございません。見通しが悪い箇所もございます。

そして、黒尾地区、繁昌地区の児童生徒は、国道 498 号は交通量が多いからということで市道黒尾繁昌線を通学路として使われております。

この周辺の方、黒尾地区、繁昌地区の方ですね「広くもない道路なのにスピードを出して通過する車が多い。抜け道として利用するのはやめていただきたい」という声をよく伺います。このような状況の解消にもつながるのではないかと思います。

そして欲を言えば、繁昌方面と書いてありますが、この合流地点を、戸坂峠を越えた若木町で合流させれば、先ほどの戸坂峠の問題も解消できるんじゃないかとも考えます。

川上交差点の渋滞緩和と事故防止につながるのではないかという観点から 3 つのパターンを御紹介しました。

国道 498 号の道路管理者は杵藤土木事務所でございますが、このような考え方、市の見解お尋ねします。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

ただいま議員のほうから様々な解決案を御提示いただきました。

確かにこの方法を取れば、相当な混雑緩和、そして解消としては有効な策だと考えております。

○議長（吉川里己君）

6 番吉原議員

○6 番（吉原新司君）〔登壇〕

こういうことができればですね、渋滞緩和、そして安全な通行にもつながるとは思いますが、夢のような話に聞こえるかも分かりません。

周辺の方のみならず川上交差点を頻繁に通行されている方々からは「何とかならんとやこの交差点は」という声をよく伺います。

これが、もう数年後に国道 498 号バイパスが完成し、安全でスムーズな車の流れになるというのであればここまでの話はいたしませんけれども、国道 498 号バイパスがいつ整備されるか分からない状況であれば、最初に取り上げた戸坂峠の問題同様、この川上交差点の安全確保、渋滞緩和につながるような交差点の変更も視野に、打開策を道路管理者である杵藤土木事務所に要望をしていただきたいと思いますし、市道黒尾繁昌線の状況のことも申しました。

このようなこともございますので、市のほうでも何らかの対応、対策、考えていただきたいと思いますがいと思いますが、いかがでしょう。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

川上交差点につきましても国道 498 号の区間となりますので、若木バイパスから国道 34 号、この交差点の間につきまして早期に事業化に向けて要望してまいりたいと存じます。

それから、議員から御紹介ありました市道黒尾繁昌線につきましても、道路改良の計画はございませんが、安全対策につきましては関係課と連携を取って講じてまいりたいと思います。

○議長（吉川里己君）

6 番吉原議員

○6 番（吉原新司君）〔登壇〕

道路管理者のほうにも、こういう状況を打開する方法を考えていただきたいということで打診していただきたいと思いますし、市道黒尾繁昌線の問題もございますので、市としてできるところ、安全対策やっていただきたいと思います。

市の職員の中でも、この川上交差点をよく通られる方は朝夕の状況というのは本当に分かっておられるんじゃないかと思いますので、ぜひともよろしく願いいたします。

次に、2 つ目の項目、市道閻魔王線についてということで質問してまいります。

この質問は令和 4 年 12 月定例会一般質問でも取り上げられましたが、今回、再度質問をさせていただきます。

現在、この市道閻魔王線は、宅地開発が急加速している地域を通る道路であるため、その地域にはとても重要な道路となっております。朝夕は児童生徒の通学路としてたくさんの子供たちが利用をしております。

しかし、道路幅が狭い箇所があったり、見通しが悪い場所も存在する道路であります。

まずお尋ねしたいのは、モニターに出しております道路拡幅工事の進捗状況です。工事が完了している黄色線部分、拡幅工事が完了している部分ですね。それと、まだ拡幅工事がなされていない赤の線の部分。こういう形に今なっております。

そして、今年に入ってから左上の写真につけておりますが、あのような看板が取り付けられ、2 月の末頃から業者の方が工事に着手されたようです。やっと工事が始まるのかと感じております。

令和 4 年 12 月の一般質問で、この拡幅工事はいつ完成するのかという質問をいたしました。そのときの答弁では、令和 3 年の水害復旧工事もあり遅れたが、令和 6 年度完了を目指して進めるということでした。令和 6 年度ってもう終わろうとしております。もう来月から令和 7 年度です。

改めてお尋ねしますが、モニターの赤色線で示している部分ですね。この拡幅工事、今後どのようなスケジュールで進み、いつ完了するのかお尋ねいたします。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

議員御指摘のとおり、今年度完成を目指して進めてまいりましたが、発注の事務手続などに時間を要しまして、御紹介いただいたとおり、令和7年2月に着工しております。来年度、令和7年12月末に完成する見込みでございます。

○議長（吉川里己君）

6番吉原議員

○6番（吉原新司君）〔登壇〕

諸事情があつて遅れたということですかね。

本当にこの市道閻魔王線拡幅工事は、もう本当、当初の計画から非常に遅れていると思います。通学路の安全確保のためにも、なるべく早い完成をしていただきたいなと思うところでは。

そして、この場所でもう一つ気になることがございます。

次のモニターに水色の矢印をつけております。道路冠水と表示しておりますけれども、この水色の部分ですね。これは激しい雨が降った際、この水色の部分、道路が冠水するようになったんですね。ここ、このルートの中でもちょっと道路が低くなっております。

モニターに冠水する箇所の写真を出しております。住宅側に側溝が映っていると思いますが、ここに集まってきた雨水がはけ切れずあふれて、そして道路のほうに流れ出しているようです。

そして、今回の拡幅工事で歩道を整備されております。この歩道を整備されるときに境界ブロックをつけられております。そのあふれた水がこの境界ブロックでせき止められて、結局ここにたまっているというような状況になっているようです。

このような状況が起きているということは市でしっかり把握されているのか、お尋ねします。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

議員が御指摘いただいたとおり、市のほうでも昨年2回、冠水したことを把握しております。特に2回目の冠水が令和6年6月27日に発生した際には、短時間でございましたが通行制限も実施しております。

○議長（吉川里己君）

6番吉原議員

○6番（吉原新司君）〔登壇〕

把握はしているということですね。

今までこの場所が冠水するっていうことは、あまり聞いたことなかったわけです。

側溝に集まってくる水の量が多くなったのか、境界ブロックを設置したからなのか、原因はこれ分かりませんが、今回、再開した拡幅工事をする中で、これは道路冠水を起こさないような対策も併せてやっていただきたいと思います、いかがでしょうか。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

現在、冠水箇所周辺の水路の状況など含めて原因を調査中でございます。冠水の原因が分かり次第、必要な措置を講じたいと考えております。

○議長（吉川里己君）

6 番吉原議員

○6 番（吉原新司君）〔登壇〕

ちゃんとした原因ですね。これが分からないと何をやっていいのかというのはあると思いますので、早急にその原因を探っていただいて、今回の拡幅工事の中で冠水しないような対策というのもしっかりやっていただければと思います。

次は、佐賀女子高等学校武雄校舎跡地部分を通る市道閻魔王線についての質問になります。

モニターの航空写真、平成 24 年度をもって閉校した佐賀女子高等学校武雄校舎があった場所を示しております。現在は赤色点線部分の校舎跡地側も、黄色の点線部分のグラウンド跡地側も住宅がびっしり建ち並び、昔の面影もない住宅地となっております。その中央にできた、オレンジで示している交差点ですね、十字路交差点。ここが見通しが悪く、非常に危ないと。度々ちょっとした接触事故が起きているという周辺の方の声を、令和 4 年 12 月議会の一般質問で取り上げました。そのとき使用したモニターですけれども、モニターに出しているような注意喚起や安全対策ができないかという質問に対し、武雄警察署に相談し、この交差点に効果的な対応を考えるという答弁をいただきました。

どのような対策をしていただけるのかということで期待をしていたわけですが、変わったのは、モニターに出しております右上の写真、これが令和 4 年 12 月議会の一般質問で使用した写真ですね。閻魔王線を朝日小学校側から見た写真ですね。同じところから、右下の写真は現在ですね、同じ場所から見ております。朝日小学校側から武雄町のほうを向いております。

左上写真は、逆に武雄町方面から朝日小学校方面を見た閻魔王線ですね。その現在の写真が下ということになります。

どこが変わっているか。破線です。また出ました、破線です。先ほどの戸坂峠の話と一緒に。破線だけつけられております。この破線をつけることで、閻魔王線を走る方には若干の注意喚起につながると思います。

しかし、住宅地側から見たら、この交差点の先と手前についているということは、住宅地側から見て何も変わっとらんとですよ。もう、以前と全く変わっていない、見え方ですね。

優先道路である閻魔王線を走る車には、住宅地から出てくるか分からんよ、飛び出すか分からんよというような感覚を持たせるような対策。逆に、住宅地側から、ここに閻魔王線があつて車の通りよよということが分かるような対策を行うべきではないかと思います。

これ、次のモニター。

佐賀女子高跡地側から、左側の写真は校舍側からグラウンド側を見た場合、こういうふうに見えます。途中に閻魔王線があります。右側の写真はグラウンド跡地側から校舍跡地側を見た写真。途中に閻魔王線が入っている。ぱっとこの風景を見たら、道路の先に目線は行くので、途中にある閻魔王線を見逃すんですよ。見てのとおりに見通しが悪い。出たところ、車が走ってきた。そのような交差点なわけです。

だから、この住宅地側から見える部分にも、ここに閻魔王線がありますよという存在感をやっぱり示さないと、飛び出し、ここはもう本当子供も多いです。たくさんの子供たちが遊んでおります。

閻魔王線に何らかの目印といいますか、安全確保ができるようなことをすればいいんじゃないかと思います。

これ、例えば閻魔王線にカラー舗装とか路面塗装ですね。こういうことをすることで住宅地側から出ようとする歩行者、自転車、車両が、あつここに閻魔王線があると。これ優先道路ですもんね。優先道路があるから絶対止まらないかと、車が来るか分からないというようにすれば、意識は変わるんじゃないかと思うわけです。

周辺の方は、区長に対しても、ここ危ないと。危ない交差点ですよということを度々伝えられているようです。区としても交通事故を警戒し、独自の取組もなされております。次のモニターの写真のように、飛び出し注意と、この看板を区で購入して設置をされているようです。

先ほど、交差点部分にカラー舗装もしくは路面塗装のことを申しましたが、市としてもこの交差点に大きな効果が得られるような安全対策をするべきではないかと思います。

いかがでしょうか。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

議員から様々な御提案いただきましたとおり、市道から見える交差点、それから、宅地側から見える交差点におきましてはカラー舗装を実施したいと思います。

また、市道部におきましては立体的に見える路面標示など、速度抑制について検討してま

いりたいと思います。

○議長（吉川里己君）

6 番吉原議員

○6 番（吉原新司君）〔登壇〕

ぜひ、安全対策ですね。大きな交通事故が起きてからではもう本当に遅いと思います。ここは本当に、子供たちがたくさんこの住宅地におりますので、なるべく早く安全対策を取っていただきたいと思います。

そして、佐賀女子高跡地のことを今、申しましたけれども、これよりすぐ西側にもちょっと危ないんじゃないか、ここ危ないなという場所がございます。

これ、モニターの航空写真ですけども、赤い点線で囲っている部分ですね。この場所は道路幅が狭いです。そして見通しが悪いカーブがございます。

私もこの市道閻魔王線は度々通るわけですけども、ゆっくり走って行っても見通しが悪い向こう側から、ぽっと目の前に対向車が現れるという場面に度々遭遇をする場所です。モニターに出している、その写真ですね。先が見えません。対向車がずっと出てきます。頭が見えます。こっちも見えません。非常に見通しが悪い、狭い道路となっております。

1 年ほど前になりますかね、地元の甘久区の区長とお話をする中で、この部分の道路「ちよっともう少し道路幅を広げて見通しのようなるぎ、安全になるとやけどね」という話をしました。区長も「そうですもんね、ここちよっと見通しの悪かですもんね」ということを言われておりました。

そして、区長「この閻魔王線沿いの地権者と話をしてみます。いい返事がいただければ、市のほうにもちょっと相談してみますね」というふうに言われました。この閻魔王線の道路幅が狭い上に見通しが悪いカーブがある。

このことについて、地元区長から何らかの御相談、もしくは協議などなされたのかお尋ねをいたします。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

今年度、地元の区長のほうからも御要望いただきまして、地権者とも協議を行い、地権者の方から道路改良計画について同意を得ることができました。

来年度、令和 7 年度より用地測量や用地補償などを行ってまいりたいと考えております。

○議長（吉川里己君）

6 番吉原議員

○6 番（吉原新司君）〔登壇〕

地権者とも協議なされて、話は進んでいるということですね。

ぜひ、もうここ、拡幅工事の事業化を早急に行っていただきたいなと思います。本当にここはちょっと見通しが悪くて、いつも冷や冷やするところでございます。ぜひよろしくお願いしたいと思います。

以上をもちまして、令和7年3月定例会6番吉原新司の一般質問を終わります。

○議長（吉川里己君）

以上で、6番吉原議員の質問を終了させていただきます。

ここで、モニター準備のため5分程度休憩いたします。

休 憩 9時50分

再 開 9時56分

○議長（吉川里己君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問を続けます。

次に、16番松尾議員の質問を許可いたします。御登壇を求めます。16番松尾議員

○16番（松尾初秋君）〔登壇〕

（全般モニター使用）皆さんおはようございます。議長より登壇の許可をいただきましたので、16番松尾初秋の一般質問をさせていただきます。

執行部の答弁は簡潔で正確にお願い申し上げます。

移住・定住についてであります。

実際どれくらいの人に移住してきているのか、答弁があってりましたが、改めて詳しくお答えをいただきたいと思います。

○議長（吉川里己君）

松尾企画部長

○松尾企画部長〔登壇〕

おはようございます。モニターをお願いします。

（モニター使用）移住に係る補助金を利用した方の人数を年度順でお答えいたします。

令和2年度124人、令和3年度127人、令和4年度88人、令和5年度63人、令和6年度は2月末までで41人、合計で443人となっております。

○議長（吉川里己君）

16番松尾議員

○16番（松尾初秋君）〔登壇〕

ちょっと今のモニターを、出しとってくれんですか、ちょろっと。

これ、見よったらちょっと少のうなっとうですもんね、ずっとね。

ちょっと補助金の関係があったかは分かりませんが、そういう状況なんだけども、移住・定住をですよ、進めるために、どのような、まず取組をしようさっとなんですか。

○議長（吉川里己君）

松尾企画部長

○松尾企画部長〔登壇〕

移住定住支援サイトを昨年 11 月にリニューアルいたしました。移住検討者が情報を得やすい環境を整備いたしております。

また、子育て世代を対象としたPR動画や、地域おこし協力隊によるインターネットを活用したPR、武雄市の住環境や補助金に関するチラシを作成、ほかにも福岡市営地下鉄や長崎市内の路面電車を活用した広告、パンフレットの配布などにより幅広く広報を展開しております。

また、移住者向けの補助金といたしましては、定住特区補助金、空き家リノベーション補助金、地方創生移住支援事業補助金、さが暮らしスタート支援事業補助金のほか、定住につながるため、通学通勤定期券購入補助金を設け支援しております。

さらには、移住相談会やオンラインセミナーを開催するなど、本市への移住をよりリアルにイメージできるように移住検討者とのつながる機会を設けております。

○議長（吉川里己君）

16 番松尾議員

○16 番（松尾初秋君）〔登壇〕

私の考えを今から言うばってんですよ。いろいろしよんさっとか分かりませんが、私はですよ、市長がトップセールスですってが一番よかったなと思います。

そいは何でかといいますと、市長はもともとほら、よそから来とんさあですもんね。

だから、そういう意味においては、やっぱり説得力のあるて思うとですよ。それはもう、この武雄市長じゃなからんぞ、できんことですもん。

よそはほら、もともと地元の者が市長とかなとったりしとっけん、できんばってんですよ。

やっぱり小松市長の場合は、ほら、よそから来とんさあけん、そこはやっぱり生かしていったほうが一番よかと思うし、市長は最初、職員で来てから、そいでほら、もう市長までなとんさあわけでしょうが。

ということは、武雄市民が優しい、度量が広いちゅうのも一緒に、併せて分かってくっと思うわけですよ。

そういう意味で、私は今回、ちょっとスライドを見せますけれども。

私も移住者です、武雄市長の小松ですって、こがんとば、首に下げてすっぎ、どがんかなと思って、首に下げたとのあるですよ。私は移住者ですって、武雄市長の小松ですって、こいでやっぱり宣伝してもらうたら、より一層、やっぱり移住者が来ると思うとですよ。

説得力のあるですよ、よそから来とんさあけん。

こいについて、市長、どがん思いんさあですか。

○議長（吉川里己君）

小松市長

○小松市長〔登壇〕

おはようございます。すばらしいアイデアありがとうございます。

やるかどうかはともかくとして、私は武雄市に来て 16 年目に入んですけども、やっぱり移住してきた人がそのまちの魅力とかをリアルに語るというのが、やっぱり説得力があると思います。なので、先ほども部長からありましたように、情報発信においては移住者の声なんかもこれまで発信をしてきました。

今、移住体験ツアーとか移住ツアーをやっているんですけども、それは毎年開催してまして、必ず私が出迎えをして、そこで私自身の移住してからの体験談を話しています。子育てのこと、教育のこと、あと、日々の暮らしのこととかですね。まちの魅力とか、やっぱりよく聞いてくれます。

先日も図書館で鹿児島県の方が、移住相談会をやったときに鹿児島県から御家族が来られてまして、話をしていたんですけども、確かに向こうもびっくりされていました。

直接会っていろいろ話すというのが印象にも残ると思います。

したがって、今、市長という職をさせていただいておりますし、私自身も移住を経験しているということの強みを生かして、これまで以上にいろんなところで P R に努めていきたいと考えています。

○議長（吉川里己君）

16 番松尾議員

○16 番（松尾初秋君）〔登壇〕

幾らかはされているような答弁をいただきましたけども、やっぱりこれが一番大事なことかなと。一番効果があるっちゃなかろうかなという思いがありました。

今後ずっと、今以上にやっていただきたいと思います。

次に、特定都市河川の弊害についてでありますけども、自分の考えば言うばってんですよ、今、市は移住・定住の推進ばする一方で、その特定都市河川になって、それを受けたことで大型の住宅開発がしにくくなったっちゅう話ば聞くとですよ。

武雄市に来てくださいっちゅうて言いよってでも、住む家がなかですもんねじゃあ駄目なんですよ。

そこでこれ、ちょっとお尋ねしていきたいんですけども、特定都市河川の指定を受けたことで 1,000 平米以上の開発の場合は遊水地ば造るとか、浸透する舗装をすとか、何かいろいろあるらしいですけども、規制はどがんとのあるとですかね。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

特定都市河川の指定は、著しい浸水被害が発生する流域の水害被害を防止するとともに、河川対策、流域対策をさらに進めるものとして、令和5年3月28日に六角川の柵島橋から上流部において九州地区で初の指定を受けております。

議員御質問のとおり、1,000平米以上の開発を行う際、土地の形状を変更する場合は河川への流入を抑制するための対策が必要となります。

河川への流入を抑制する対策として、技術基準に従った雨水貯留施設の設置が条件となります。雨水貯留施設といたしましては、御紹介いただきました調整池、宅地部の雨水浸透管や雨水浸透ます、それから透水性舗装などが主な施設となります。

設置に関する許認可は佐賀県の河川砂防課が窓口となりますので、開発される前に事前に相談をいただければと存じます。

○議長（吉川里己君）

16番松尾議員

○16番（松尾初秋君）〔登壇〕

今、規制の話をされたんですけどもね。

私は今、農業委員会の委員をやっておりますね。7月からやけん、今、何か月かな。9か月ぐらいなるとばってんですよ。

やっぱり1,000平米以上の住宅開発はあってないんですよ。そういうのがあっていない。確認の意味で質問をしていくんですけどもね。

一方で、やっぱり農地を守る立場もありますけども、いずれにしてもですよ、1,000平米以上の農地転用の住宅開発はあっていないと思いますけども、確認ですけども、この点どころでしょうか。

○議長（吉川里己君）

木村農業委員会事務局長

○木村農業委員会事務局長〔登壇〕

おはようございます。議員御指摘のとおりで、1,000平米以上の農地を宅地分譲や建売分譲住宅等に転用する宅地開発は、令和5年度に申請が1件ありましたが、その後取り下げられております。令和6年度の申請はございません。

○議長（吉川里己君）

16番松尾議員

○16番（松尾初秋君）〔登壇〕

今、答弁いただいたら、やっぱりなかということですよ。1件、令和5年度にあったばってん、その後取り下げられているという状況を今答弁いただきました。

補助金の、これ何か、これをするのに対して、市は、補助金のあるらしいかですもんね、「補助金のご案内」っちゅうことで、「大雨時に、一度に多量の水が河川や水路に流出することを防ぐため、家庭や事務所などで行われる雨水を「貯める」「浸透させる」対策への補助を行います」っちゅうことで、治水対策課からちょっと資料を頂きましたけども、この説明は詳しくしてください。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

先ほどの御質問で、雨水貯留施設の主なものを御答弁させてもらいましたが、御紹介させていただきました主な雨水貯留浸透施設につきましては補助制度を設けております。

モニターをお願いします。

（モニター使用）具体的には、モニターにお示ししていますよう、対象者は、整備する土地・建物の所有者または使用者、対象地域は、武雄市内全域でございます。補助率は、整備費の3分の2でございます。

対象雨水貯留施設として、1つ目は、敷地内に貯留容量 50 立方メートル以上をためる雨水貯留広場、調整池ともいいますが、1件当たり限度額 100 万円でございます。

2つ目に、屋根などに降った雨を地下に浸透させるための雨水浸透管の設置で、内径 100 ミリメートル以上の管で1メートル当たり 7,000 円で、1施設総額 20 万円まででございます。

3つ目に、屋根などに降った雨を地下に浸透させるための雨水浸透ますの設置で、内径 300 ミリメートル以上のますで1基当たり 2 万円、1施設総額 20 万円まででございます。

最後に、4つ目に、舗装面上に降った雨を地下に浸透させる透水性舗装などで1平方メートル当たり 500 円、1施設総額 25 万円まででございます。

以上でございます。

○議長（吉川里己君）

16 番松尾議員

○16 番（松尾初秋君）〔登壇〕

今、補助の説明をいただきましたけどね、やっぱり補助がこがんあっても開発があっていないということは、補助の少なうなかろうかなと思うわけです。

少なかけんこそ、で、補助金ばですよ、補助金ば上げて、やっぱり住宅開発をもう少し進めるという方向もあるですよ。

そういう中で、民間がこういうのができないのであれば、市で住宅開発をするとか、何か考えていただきたいと思いますけども、この点についてはどがんでしょうか。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

六角川流域が特定都市河川に指定を受けてまだ時間がたっておらず、現時点では補助制度の見直しは考えておりません。

まずは現在の補助制度について事業者への周知を深めてまいりたいと考えております。

また、市単独での宅地開発につきましても現時点では考えておりません。

○議長（吉川里己君）

16 番松尾議員

○16 番（松尾初秋君）〔登壇〕

周知ば図っていくということばってん、もうこいも2年たつとうとですよ、2年。

そいで、こいが民間の人とか、普通の人やったらまだよかですよ。相手は住宅開発業者とか、そがん業者ですよ。こがんとは周知も知つとんさあはずですよ。分かるでしょう。

今から周知していきますよて、2年、もう2年たつとうとですよ。

だから本当に、個人やったらよかばってん、相手は業者だからね。やっぱりそこんたいは、上げることを考えていかんばいかんと思うですよ。こいは指摘だけしときますよ。

もうこの件は、もうこの辺ぐらいで終わってですよ、次に、旧庁舎跡地について質問をしていきたいと思ひますけども。

今は、跡地は市の職員駐車場で使っていると思ひますよね。

写真をちょっと見せましようかね。こいですたいね。ここのところですよ。

確認の意味で聞きますけども、今どのような使い方をしてますか。

○議長（吉川里己君）

秋月総務部長

○秋月総務部長〔登壇〕

おはようございます。平日は午前7時から午後6時まで市職員の有料駐車場及び来庁者の臨時駐車場として使用しております。

それ以外の土曜日、日曜日、祝日及び平日の午後6時から翌日午前7時までは無料で開放している状況です。

○議長（吉川里己君）

16 番松尾議員

○16 番（松尾初秋君）〔登壇〕

これ以前ですよ、何か旧庁舎跡地等利用促進に関するサウンディング型市場調査結果概要っちゅうことで、ここに書類がありますね。

令和5年10月武雄市っちゅうことで、こん中で立体駐車場ということで、民設民営の可能性は低い、困難であるということでありました。

そいで、この前の令和5年12月議会の総務常任委員会の議事録を手に入れまして、そこん中の16ページの、そんときの資産活用課長の説明の中に「立体駐車場の民設民営は困難という意見などもあり、このエリアにどういった駐車場を確保することがいいのかを立体駐車場も含め考慮して、計画素案を策定する必要が出てきまして、時間を要するため、今年度中での議会報告が困難となっております」ということで、令和5年12月の委員会でこういうふうな報告があつとるわけですね。

そこで、立体駐車場はもうやめたとですかね、どがんなつととですか。

○議長（吉川里己君）

秋月総務部長

○秋月総務部長〔登壇〕

先ほど議員から御紹介いただいたように、まず、立体駐車場についてですけども、公設による建設については検討いたしましたけれども、該当するような補助金がなく難しい状況というのが分かっております。

また、先ほど言われたように、令和5年10月に公表されたサウンディング型市場調査の結果で、民設民営による立体駐車場建設については新たな課題等が出て、民設民営による立体駐車場の建設は困難であるという意見もいただいているところです。

こういうふうな状況から、現段階においては具体的な立体駐車場の構想についてはない状況でございます。

○議長（吉川里己君）

16番松尾議員

○16番（松尾初秋君）〔登壇〕

今度は自分の考えば言うばってんですよ、やっぱり市の中心部にあの広い土地ですよ、これ、このままにして見せることがですよ、やっぱりまだまだ武雄市は伸び代がああですよっちゅうことをですよ。私は、そういうふうに発展するような、まだまだ伸び代があつて、発展するように見えるわけですね、こういうのを残すことによってですよ。

そのことでやっぱりその事業家とか投資家とかを引きつけると思いますよね。

これもう埋まってしもうて、何でも埋まってしまいうぎ、もう私は駄目だと思うわけですね。

ぽーんてしとくのがですよ、こういうふうな空間がやっぱり宣伝効果になるんじゃないかなと私は思うとですよ。

だからですよ、こういうふうにつくっておりますけども、武雄市はまだまだ伸び代がありますよっちゅう、こいが宣伝になると思うわけですよ。こういうふうにそのまましておくことが、というふうに、私は私なりに思いますよね。

これがやっぱり投資家とか事業家とかを引きつける要素になるんじゃないかなというふうに、私はこういうふうに見ますけども、この件についてはどがんでしょうかね。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

市といたしましては、旧庁舎跡地を駅周辺、温泉通りエリア、御船山エリア、新文化交流施設エリア、保養村エリア及び大学建設予定地の結節点として、まちのにぎわい創出において重要な場所であると認識を持っております。

先ほどいただきました、令和5年10月に実施いたしましたサウンディング型市場調査では、旧庁舎跡地が国道沿いではなく接道などが悪いことから、想定より評価が低かった結果も出ております。

現在、新文化交流施設エリアの整備中であり、大学の建設中でもあるため、今後、新文化交流施設エリアの整備が終了し、大学が開学することでまちの流れは変わると予想されます。

以上のことを見極めましてから、今後の方向性を見いだしたいと考えております。

○議長（吉川里己君）

16番松尾議員

○16番（松尾初秋君）〔登壇〕

流れが変わるという答弁でしたけど、私はこういうふうな土地をそのままにしておくことが、やっぱり引きつける要素になる、宣伝効果になるというふうに思います。

武雄市はまだまだ伸び代がありますよっっちゃうのを広く宣伝する効果が、私はあると思いますので、これは私の考えを一応言うて、こういう考えもあるということを伝えておきたいと思ったので、今回、質問を出しました。

次に、市民体育館の機能強化についてでありますけども、これですね。

市民体育館、ケーブルワン・スポーツパークですかね。

これ、二十歳のつどい、私行ってないんですけども、あったらしいんですけども、これちょっと確認で聞きますけども、これ体育館なんですけども、そもそもですよ、その体育以外、体育とかスポーツ以外の利用ができるように大体なっているのか、確認の意味で聞きたいと思います。

○議長（吉川里己君）

山北企画部理事

○山北企画部理事〔登壇〕

おはようございます。市民体育館はスポーツをする人もしない人も気軽に立ち寄れる、楽しめる空間としておりますので、スポーツ以外でもいろんな行事で御利用いただけます。

○議長（吉川里己君）

16番松尾議員

○16番（松尾初秋君）〔登壇〕

いろんな行事で使われているという話ですけども、今までどがんとところが行事していたか。

○議長（吉川里己君）

山北企画部理事

○山北企画部理事〔登壇〕

物産まつりや二十歳のつどいなどのイベント、文化関係では伝統芸能まつりのほか、国スポの公開競技等のセレモニーとして、文化団体やこども園による和太鼓や合唱、吹奏楽等を披露していただきました。

そのほか、講演会、集団検診、就職説明会などに利用されております。

○議長（吉川里己君）

16 番松尾議員

○16 番（松尾初秋君）〔登壇〕

もちろん私も、1 回言いましたね、私も二十歳のつどいは行っていません。

行っていませんけども、行った人に聞いたら、えらいこれは音響の悪かったっちゅう話ば聞いたとですよ。

私は行っていないからよく分かりませんが、この点についてはどがんでしょうか。

○議長（吉川里己君）

山北企画部理事

○山北企画部理事〔登壇〕

聞こえづらかったと聞いております。

○議長（吉川里己君）

16 番松尾議員

○16 番（松尾初秋君）〔登壇〕

今回、自分の考えを言うばってんですよ。

聞き取りづらかったですね。

私は、今後、文化会館大ホールの解体も考える中で、やっぱりその大ホールを補う意味でも、補完する意味でも、ここに音響を用意していただきたいと思うわけですよ。コンサートなどをできるようにしていただきたいというふうに思うとですよ。

スライド、ちょっと写真見せますけどね。

この体育館のこの壁側にずっと張ってですよ、壁んたいに、こう何じやいですよ、キャスターつきの移動式の木製音響反射板とか、こがんとのあるらしかですね。「日本中の学校体育館、公民館等のホールに豊かな響きとクリアな音」っちゅうことで資料がありまして、「コンパクトで国内最軽量アンド最低価格を実現」とか書いてあってですよ、「移動後パネルを上げるだけで即使用可能、木製による自然で豊かな響きと明瞭な音を両立」ということで、そが

んとばこう置いとったり、つけたりして、音響をよくすることが大事になってくるんじゃないかなと思いますけども、機能強化という意味ですよ。

質問として、音響がよくなるような機能強化についてはどがんでしょうか。

○議長（吉川里己君）

山北企画部理事

○山北企画部理事〔登壇〕

現在の市民体育館の音響設備につきましては、スポーツイベントを想定した機器を設置しております。

議員御提案の音響反射板等の設置等につきましては、現在、文化会館大ホールの方針の見直しが行われていることから、その方向性を踏まえた上で関係部署とも協議し、配備について検討いたします。

○議長（吉川里己君）

16 番松尾議員

○16 番（松尾初秋君）〔登壇〕

踏まえて考えていただきたいと思いますよね。

そがんなれば、結構いろいろな面でこの体育館が今以上に使われるようになると思いますので、その辺はよろしくお願いします。

次に、ライドシェアの実証実験の結果についてでありますけども、こいが、もう何人でも議員が、質問されたけん、もうあんまり聞くところなかですもんね。

ただ、ちょっと資料をまず読みますとね、これ、また同じ話なんだけども、運行日数が 20 日間ね、ドライバーが 3 名ですよ。そいで、利用状況を見ますとね、0 回が 6 日ですよ、0 回が。1 日 1 回だけが 11 日間、2 回あったのが 3 日間ですよ。売上が 3 万 2,170 円ですよ。

質問になるんだけど、こいですよ、恐らくね、金ばね 1,900 万円ぐらい使うとるはずですよ、この実験のために。

そのうち、たしかね、400 万円ぐらいが市の持出しの金じゃなかったかなと思うけど、その辺についてどがんでしょうか。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

今回の実証運行にかかった費用につきましては、議員が言われましたとおり 1,947 万円でございます。

なお、この事業は国の補助事業を活用しておりまして、国から 1,464 万円、市の持ち出しの負担といたしまして 483 万円でございます。

○議長（吉川里己君）

16 番松尾議員

○16 番（松尾初秋君）〔登壇〕

こい 1,947 万円使うてこの実験ばしたとですよ。

見てくださいよ。3 万 2,170 円ば稼ぐためにですよ、ばかと一緒やなかですか、ばかと。はつきり言うてですよ。

こい、あんた、アメリカのイーロン・マスク氏のごたとおんさあぎ、たたっ切られるですよ、チェーンソーで。そうだったでしょう、政府効率化省やったですかね。そがんものの、こっけおんさあわけですよ。そがん話ですよ。

1,947 万円、うち市費が 483 万円、この結果ですよ。

でね、もう私はね、自分の考えを今から言うばってんですよ、この利用者が少なかったのはね、前も言うたでしょうが。現金の対応ができないことですよ。

支払い、現金でよかですかって。いや、うちはスマホかクレジットカードですもんって、じゃあいいですってなあとですよ。

もう、ほんなごてですよ、もうライドシェア、もういいですってなっとなと一緒やなかですか。そういうふうに思いますよ。

私はね、そういうふうに現金対応ができなかったのが大きな原因だと思いますけども、利用者が少なかった原因はどういうふうに捉えていますか。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

今回のライドシェアの支払い方法につきましては、国の指針に準じてキャッシュレス、クレジットカード及び P a y P a y にて実施し、夜間の運行のため、何よりも利用者やドライバーの安心・安全及び防犯上の観点を最重要視したため、現金不可としておりました。

武雄市においては、やはりタクシーや運転代行の利用が浸透しており、これらが優先的に利用されたことから利用が少なかったのではないかと分析しておりますので、現金が使えなかったことがその直接的な原因だとは考えておりません。

○議長（吉川里己君）

16 番松尾議員

○16 番（松尾初秋君）〔登壇〕

それはいろいろ見解があるか分かりませんがね、不特定多数の相手ばずっとやけんですよ。やっぱりタクシーと同等、タクシー、現金ですよ。その上でよ、スマホとかよ、そのクレジットカードもあるでしょう。全くやなかですか。私は現金対応ができなかったことがね、絶対駄目だと思う。

前回の議会でも言うとうですよ、これは失敗するですよって。これも結果、私に言わせる

ぎ、失敗ですよ。

考えてみてくださいよ。1,947 万円使うてですよ、幾らですか、売上げは。3 万幾らの売上げ、3 万 2,170 円。市費ば 483 万円も使うとですよ。

本当にね、これ今日、テレビ見よんさあ市民の人は頭きんさあと思うですよ、はっきり言うて。もう全く、私はなっとらんと思います。

もうこれ以上言うても、だんだん歯がゆくなるけんですね、もう言うとはもうこんくらいでもうやめます。もう言うとも大体なかったですもんね、この件はですよ。ほかの人がいっぱい言うとなさったけん。

次に、マイナンバーカードについてでありますけども、まずマイナンバーカードの保有率はどのくらいですか。

○議長（吉川里己君）

馬場福祉部理事

○馬場福祉部理事〔登壇〕

おはようございます。令和 7 年 2 月末現在の武雄市のマイナンバーカード保有率ですが、81.8%です。

○議長（吉川里己君）

16 番松尾議員

○16 番（松尾初秋君）〔登壇〕

約 8 割は作っとなさあてことですね。2 割は作っとなんて。

実はですよ、私は実は作っとなんですもんね、はっきり言うてですよ。（発言する者あり）いや、本当にですよ、作っとなんとですよ。

何でかっていったら、そもそも番号振られるとにむかってきたんですね。勝手に番号振りやがってという思いがあったとですよ。恐らくですよ、議員の中で、このマイナンバーカード作っとなん人は、私と江原議員ぐらいじゃなかなかなというふうに思いますけどね。これはあんまり関係なか話なんですけどね、そういうふうに思います。

保険証とかにマイナンバーカードのひもづけ率をお尋ねしていきたいと思いますが、保有率は今のところの 80%を 100 として考えた場合ですよ、国保、社保、あとは後期高齢者でどんぐらいですか。

○議長（吉川里己君）

馬場福祉部理事

○馬場福祉部理事〔登壇〕

武雄市国民健康保険のマイナンバーカードとのひもづけ率は、令和 6 年 12 月時点で 71.4%です。

あと、こちらで分かるのは、佐賀県後期高齢者医療の武雄市分のひもづけ率になりますが、

令和6年12月時点で67.2%です。

○議長（吉川里己君）

16番松尾議員

○16番（松尾初秋君）〔登壇〕

顔認証でこう、するとですよ。『顔認証付きカードリーダーとは、オンラインの資格確認を行う際に必要となる機器のことで、マイナンバーカードの顔写真データをＩＣチップから読み取り、その顔写真データと窓口で撮影した本人の顔写真と照合して、本人確認を行うことができるカードリーダーです』ということで、そういう機械がですよ、これ、ひとつじゃないかなあ。私も資料もろうたばってん、５種類ぐらいあるとですよ、５種類ぐらい。

それですよ、このタッチの仕方も一つ一つ違うとですよ。高齢者の人がですよ、複数の病院に行くぎ、いっちよいっちよ違うてね、もう困りよんさあって話が私に入ってきたばってんですよ。そがん話は入ってきとらんですか。

○議長（吉川里己君）

馬場福祉部理事

○馬場福祉部理事〔登壇〕

医療機関でのマイナ保険証を読み取る機器の操作については、健康課のほうでは直接お困りとの御意見を伺ったことはございません。

しかしながら、機械の操作の苦手な方が、やっぱりいらっしゃると思います。そういった場合は、恐らく窓口でお聞きになりながら対応されているのではないかと考えております。

○議長（吉川里己君）

16番松尾議員

○16番（松尾初秋君）〔登壇〕

直接は入ってきてないということで分かりましたけどもね。

今から自分の考えば言うばってんですよ、これ何か、ひもづけは3月中に運転免許証もひもづけになるらしかですね。そういう話をちょっと聞いておりますけども。

もし、そのマイナンバーカードを無くすぎですよ、全部パーになるとですよ、全部。保険証でも、免許証でも、全部パーになるわけでしょ。

でね、私はですよ、こいば投資で考えた場合ですよ、例えば投資の場合はですよ、現金で持っときなさい、株で持っときなさい、債券で持っときなさい、土地で持っときなさいということで、やっぱり危険分散するとすね、リスクヘッジと思うとですよ。だから、私はひもづけすることが果たして何か正しかかなって。

確かにね、便利かとは便利かで、いっちよにまとめるぎ。でも、そのリスクヘッジで考えれば、危険分散で考えれば、本当に、これ正しかとかなって思いがあったけんですよ、ちょっと質問したんですけども、質問として、もしですよ、マイナンバーカードが紛失した場合

は、再交付に要する日数なり、費用なりはどうなんですか。

○議長（吉川里己君）

馬場福祉部理事

○馬場福祉部理事〔登壇〕

通常、マイナンバーカードを紛失した場合ですが、市民課の窓口で紛失届を提出し、再交付の申請をしてからおおむね1か月で新しいカードが交付されます。その際、手数料が1,000円必要となります。

ただし、急ぎでのお受け取りを希望される場合は、窓口で本人確認を行い、特急発行の申請手続をされますと、約1週間で新しいカードを受け取ることもできます。

この場合の手数料は2,000円となります。

○議長（吉川里己君）

16番松尾議員

○16番（松尾初秋君）〔登壇〕

自動車と一緒にですたいね。特急やっぎ高かですもんね。そいと一緒ですよ、分かりやすく言うぎですね。1,000円払うぎ、1か月かかるばってん、2,000円払うぎ、1週間でできるって話でしょ。

でね、私はですよ、保険証、今後はね、資格確認書になると思いますけども、こいばですよ、無くしたときは、お金がかからん上でね、その日にできるっちゃなかかなと思いますけども、その辺はどがんでしょうか。

○議長（吉川里己君）

馬場福祉部理事

○馬場福祉部理事〔登壇〕

資格確認書の再発行につきましては、武雄市国保、後期高齢者医療ともに、市役所の健康課で原則、即日で発行できます。

再発行に際しても、今、議員がおっしゃられたように、手数料は不要です。

○議長（吉川里己君）

16番松尾議員

○16番（松尾初秋君）〔登壇〕

これはお金はかかると思うばってん。運転免許証の場合ですよ、例えば佐賀の試験場さ行くぎですよ、あれはその日にできると思いますけども、その辺はどがんですか。

○議長（吉川里己君）

馬場福祉部理事

○馬場福祉部理事〔登壇〕

運転免許証を紛失した場合についてですが、武雄警察署に確認したところ、佐賀市の運転

免許センターへ直接行かれた場合は即日交付ができるということでした。

○議長（吉川里己君）

16 番松尾議員

○16 番（松尾初秋君）〔登壇〕

だから、やっぱりそのひもづけが果たして、今の答弁ずっと聞いてですよ、果たしていいのかね。国策やけんですね、しんさあとはよかですよ。

ただ、そういう面もあるっちゅうことをですよ、市民の人は知って、するときはしていただきたいと思うわけですよ。

私もマイナンバーカード作っていませんけども、今後、何か、今度万博あって、大阪で、ここもカジノができる。カジノもマイナンバーカード持っていかなぎ入られんてやったけん、1 回行きたかけんですよ。そのときはマイナンバーカードを作るか分かりませんがね。それでもやっぱり、ひもづけだけはするみゃーかなとか思うですよ。今、ずっと答弁聞きよってですよ。

もうこれ以上このことは言いませんけども、次に、消防団員確保についてでありますけども、質問としてですよ、団員数は条例で定めた定数になっているのか、まずお尋ねしたいと思います。

○議長（吉川里己君）

黒尾総務部理事

○黒尾総務部理事〔登壇〕

武雄市消防団員の人数は、令和 6 年 4 月 2 日現在で、条例定数は 1,370 名に対しまして、団員実数は 1,273 名でございます。

○議長（吉川里己君）

16 番松尾議員

○16 番（松尾初秋君）〔登壇〕

ということは、100 名ぐらい下回っとるっちゅうことですよ、条例定数に対してですよ。

ということは、今後ですよ、定数のように団員を増やしていくとか、それとも定数自体を減らすとか、これ、どっちですか。

○議長（吉川里己君）

黒尾総務部理事

○黒尾総務部理事〔登壇〕

消防団の組織再編検討委員会で、活動実績の団員の整理に取り組み、条例定数を検討するため、現在は実数に合わせて定数を見直すこととなっております。

このため、定数を増やす考えはございません。

○議長（吉川里己君）

16 番松尾議員

○16 番（松尾初秋君）〔登壇〕

ということは、定数自体を減らすということですかね。

答弁お願いします。

○議長（吉川里己君）

黒尾総務部理事

○黒尾総務部理事〔登壇〕

実数に合わせて定数を減らしていく方針でございます。

○議長（吉川里己君）

16 番松尾議員

○16 番（松尾初秋君）〔登壇〕

私の質問は最初からどっちですかって聞きよるとやけんですよ、分かりやすく言うてくれんぎですね。

何かおかしかごと、ぴんてこんとですよ、私も頭悪かけんですよ。

分かりました。定員数を減らすのは分かりましたけども、いずれにしても、定数を減らすといえども、やっぱり団員の入替えがあると思うんですよ。

そいけん、幾らないとん、新しか団員さんも入れんばいかんとばってん、大体どんぐらいたば予想しとんさっとですか。

○議長（吉川里己君）

黒尾総務部理事

○黒尾総務部理事〔登壇〕

令和2年度からの5年間でございますが、平均で約40名でございます。

○議長（吉川里己君）

16 番松尾議員

○16 番（松尾初秋君）〔登壇〕

ということは、40名新しか団員を入れんさあという話ですけどね。

資料はですよ、こい、消防庁からの資料、こっけあるですね。「人と街を守るチームの一員になろう。消防団員募集中」ってここにあるですよ、ここに。（資料提示）

そいで、どんな活動をしているのかということで「日頃から地域を守るための活動をしています！」Q&Aで書いてあるとですよ。「活動はボランティアなの？」って、「違います！報酬があります！」って書いてあるですもんね。

そいで、「入団のメリットはあるの？」って、「色々あります！」って書いてあるとですよ、色々ありますって。

ということがあって、佐賀県もですよ、こがんとば出しとんさあ「消防団員になろう！」

ということで、こういうふうなとば出しとんさあですけども、消防団募集ですね。

そこで、どがん方法で今、団員ば募集しよんさっとですか。

○議長（吉川里己君）

黒尾総務部理事

○黒尾総務部理事〔登壇〕

団員の募集の状況でございますけれども、全般的な募集広報は、団員募集ポスターを地区の公民館や格納庫に掲示し、佐賀県ではテレビのCMや新聞への掲載を行い、取り組んでいるところでございます。

地元消防団の具体的な募集としましては、各地域を団員が消防庁の消防団募集チラシ、先ほど見せていただいたチラシを活用し訪問するなど、声かけを中心に入団者を確保しているのが現状でございます。

○議長（吉川里己君）

16 番松尾議員

○16 番（松尾初秋君）〔登壇〕

今、方法ば聞きましたね。ポスターば貼ったり、声ばかけたりですよ。そがんとで、団員集まると、簡単にいくかなという思いがああとですよ。

これから私の話ばすっとですよ、私の考えですよ。基本的にね、消防団になるもんって、火事好きの人しかならんとですよ。赤いやつ好きですよ。火事好き。

そいぎ、近所で火事のあっても、見に行かんごたもんはいかんとですよ、分かりやすい言うぎ。

いや、私は今、ゲームしようですもんねって。ゲームしようけん、そがんと関係なかしというごた人は駄目なんですよ。

だからですよ、やっぱりその近所で火事のあったら、ばって見に行くごたもんしか、そういうふうな人しかならんと思うわけですね、消防団員に。

分かりやすう言うぎですよ、火事場でやじ馬の中からやっぱりスカウトせんばいかんごた感じの話なんですよ。

でも、これ、よくよく考えたらおかしか話ですもんね。何がおかしいかが分かるですか。火事場でそがん募集活動する暇もなかですもんね、消火活動せんばいかんけんですよ。そいけん、そがんと募集ばできんとですよ、基本的には。

でもね、考え方としてよ、やっぱり興味のあるような人を見つけ出すことが大事かと思うわけですね。

私は一つは、火事場の話ばしたですよ、例え話ですよ。

だから、質問として、やっぱり興味のあるごたもんばですよ、見つけ出して、消防団員として募集する件についてはどがんでしょうか。

○議長（吉川里己君）

黒尾総務部理事

○黒尾総務部理事〔登壇〕

議員提案の火災現場を見に来る人たちの中から団員を発掘するのは、有効な方法だと思います。（202 ページで訂正）

ただ、消防団の活動は、訓練や点検、火災や風水害など様々な災害への対応、現場での後方支援などその活動は多岐にわたっております。

一つの方法として参考させていただきたいと思います。（発言する者あり）

○議長（吉川里己君）

暫時休憩します。

休	憩	10時42分
再	開	10時43分

○議長（吉川里己君）

再開いたします。

黒尾総務部理事

○黒尾総務部理事〔登壇〕

先ほどの私の言葉で訂正をさせていただきたいと思います。

消防活動に興味のある方の勧誘はすべきだと思うというふうに訂正させていただきたいと思います。

○議長（吉川里己君）

16 番松尾議員

○16 番（松尾初秋君）〔登壇〕

火事場でスカウトできんですもんね。でも、そういうふうな興味のある人ばですよ、選りすぐって、やっぱり募集することが私は大事だと思うわけですよね。

本当にその一つの例として、やっぱり近所で火事のあつとるぎ見にいかんごたもんは、とにかく無理やろうという思いで、こういう質問をしました。

以上で質問を終わります。

○議長（吉川里己君）

ここで 16 番松尾議員の質問を終了させていただきます。

議事進行をお願いします。9 番上田議員

○9 番（上田雄一君）

先ほどの質問の中で、ライドシェアのところやったですかね。すみません、議事録とかまだないのであれですけど、イーロン・マスク氏のおんさったりするぎ、首切られるですとか、チェーンソーで首切られるとかというような表現があったかと思うんですけど、そうい

うので、議長、止めんさあかなと、発言の訂正を言われるかなあとかって思ったんですけど、そういうのも一切なくて、さらに最後らへんも消防団員は全員火事好き。それも、いや、私もまだ団員の一人ですけど、別に火事が好きなわけでも何でもありませんし、やっぱり地域のためと思って消防団員、皆さん頑張っていると思うんですけど、仮にも議会の副議長でもあるので、こういうのを、議長、何も止められたなかったんですけど、これに対してはどういうふうな対応をされるんですか。

○議長（吉川里己君）

ただいまの9番上田議員からの議事進行でございますけれども、確かに首切りとかというのは、言葉は不適切な発言ではないというふうに思いますけれども、チェーンソーでとか、そういったところはちょっと少し過度な部分もございますので、その辺については後刻、調整をさせていただきたいと思います。

それでは、ここで議事の都合上、5分程度休憩いたします。

休	憩	10時46分
再	開	10時53分

○議長（吉川里己君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問につきましてでございますけれども、大げさな発言、また、過激な言葉といったものについては十分注意をしていただきたいというふうに思います。今回特に、完全な不適切な発言とまではいえませんが、ぜひ質問者は責任を持って質問をしていただきますよう、お願いをしておきます。

それでは、一般質問を続けたいと思います。

次に、18番牟田議員の質問を許可いたします。御登壇を求めます。18番牟田議員

○18番（牟田勝浩君）〔登壇〕

（全般モニター使用）議長より、事前にこういうことはいろいろ大げさに言うなと、大げさな発言はするなという前提の下、許可をいただきましたので、私の一般質問を始めさせていただきます。

これ、先生にちょっと描いてもらった絵なんですけど、これは蛇、今年はへび年ですね。今年の年頭の挨拶でいつも聞くのが、今年は脱皮の年ですと。脱皮しなきゃいけない。ということで脱皮しますと。そういう挨拶を多々、多々聞きました。多分、皆さん方も聞いているし、耳に入ったことでしょう。

ただ、ここで言いたいのは、蛇の脱皮というのは、本当に命がけなんですね。脱皮している最中に襲われるかもしれない。脱皮の途中、死ぬ場合もある。脱皮してから著しく体力を使う。やっぱり脱皮するには、それなりの犠牲と体力が必要なんですね。

ただ、今年は脱皮します、脱皮の年です、へび年で脱皮しましょうと軽々に言うならば、

その反対に、エネルギーを使う。そして、いかにこの脱皮というのが大変か。

例えば武雄市で元をずっとたどっていくと、脱皮したのはどういうときだろうと。武雄市の昭和 50 年代、赤字再建団体に陥るときに大なたを使って脱皮して乗り越えました。

石井元市長のときは、保育所を全部廃止しました、武雄市内の保育所。それは、生身を切るというのは少なかったのですけれども、そこの保育所に勤める方は公務員ですので、全部それを廃止されたという、一つの脱皮を図りました。

そして、その後、古庄元市長のときは合併ですね。合併という、大きなエネルギーを使いました。

樋渡前市長のときは病院、本当にこれは大きな脱皮だったと思います。それをエネルギーと、そして、いろんな力、そして犠牲、犠牲という言葉はおかしいですけども、そういうのを繰り返しながら脱皮していった。だから、脱皮の年だと、軽々、なかなか言えないような感じがします。

ただ、今度は小松市長、ひょっとすると今度の大学問題が一つの大きな脱皮で、さらに発展するかもしれない。ただし、これはいろんな心配事がついて回る。

そういう中で、さっきの松尾初秋議員、ここの壇上で、どんぐらい話さすかなって思って計っていたら、5.8 秒でもう降りられたんですね、ここから。だから、私もそれ見て、今回、私いつもここ長くなるので、松尾議員が 5.8 秒ですから、今回はいつもよりも長く話したいと思います。

こうやって脱皮の話しました。脱皮でそういう、いろんなのが出てくる。

最後言いました、小松市長の大学の件を言いましたけれども、大学の説明で、これ、ここの壇上で何度も言っています。大学の説明をするときに人口減少を一丁目一番地に持ち上げてくるような形で説明していただいています。もう本当に、人口減少をその大学の誘致の一丁目一番地みたいな感じで聞くのが通常になってきてしまった。本当にいつもしている。

もう本当、それは共感いたします。そういうのをやっていращやるということで、今度、私が出すのも、その人口減問題、そういう部分でやっていきます。

次の画像ですけれども、今回の市長の市長演告の中で、人口減や高齢化が進む中、云々、地域で実施していただいている草刈り作業の負担を軽減し、持続可能な地域社会の実現を今度の当初予算、令和 7 年、さらに目指していくということと言われています。

これ、本当に非常にうれしい言葉で、演告にこういうふうな持続可能な地域社会の実現。もう本当に我々、私自身、マスター計画でこういうのをどんどんやっていただきたいというのをしているので、演告に載せていただいたというのは本当にうれしい限りです。

明治 42 年に、30 年でしたか、山縣有朋っていますよね。山縣有朋が——これも何度かここで言いました——地方議会をつくるときに、中央から派遣する首長に権限を持たせるために、議会というところを権限を縮小しました。

議会は、予算編成権はありません。予算の編成の付与ありません。そして、議会は執行部から出された議案にマルかバツをつけるか、賛成か反対か、そういうことをする。もしくは、その中でもおかしいのは附帯意見をつける。我々は、その程度の権限しかない。

もし否決しても、その後に再議というのが出てきます。これは県議会が、県でも十何年ぶりか、二十年ぶりかにされたというふうなことです。

そういう中で、我々に唯一残されたのは、この一般質問。一般質問を最大限に尊重する。ここで何度も言いました。

そういう中で、私、こうやって周辺部のこと、そして、持続可能な地域社会のことを言ってきた中で、こうやって乗せていただいているというのは本当ありがたいこと。先輩議員から言われたのは、私の先輩ですから、もう大分、年配の方なんですけども。先輩議員から言われたのは、一般質問でやって、次の年の当初予算に乗せてくれるのが議員冥利の一つだよと、そういうことを言われました。

今回、こういうふうに乗せていただいたので、これからいろいろ肉づけをやっていただけるものと思いますけども、今回もマスタープラン、地域のことにやっていきたいと思っています。

次ですね。

今回、これをトップの質問にしようといった大きな原因の一つです。

出生数とか死亡過多のニュースが出ました。これ見ると、この前の国の計画よりも、15年前倒しで人口減、出生数の減が進んでいると。

15年前倒しで来ていると、本当かなって調べたんですね。これ、毎日新聞。

ほかの新聞社、出たら20年前倒しという言葉もやっていますし、平均というか、人口減、15年前倒し。

15年前倒しってどういうこと。15年前倒しっていうことは、前回、議会で私、これを使いました。こういうことですね。これが市が試算した各町の人口減のやつです。

2035年には、2020年の人口に対してこれだけ減りますよというのを出しました。ところが、2050年になるとこれだけ減りますというのが、これは本当、皆さんびっくりした数字だと思います。

私のところにも、この一般質問をやって、何人も電話がかかってきました。牟田君、どがんことねと。

これが15年前倒しってどういうことか分かりますか。15年前倒しということ、一番右の2050年の数字が2035年に来るということですよ。

すると、2020年の15年後、2035年には、橘町は今、2,365人が、15年後には1,130人。若木町は1,473人が783人。700人台に、ほぼ半減ですね。15年後ですよ。

東川登町、1,993人が733人。本当、こんななるのかなと。

すみません、見て計算していただければ。それだけ減るということ。

本当、若木町、700 人も減るのかなと、15 年で。

700 人割る 15 年ですと、年間四十何人。四十何人を 12 か月で割ると、月 3 人から 4 人。月 3 人から 4 人減ってくれば、この数字になるんですね。出生数少ないのですから。

どうですか、最近、新聞見て。本当に地域の方亡くなっていますよね。

月 3 人、4 人というのは、ひょっとすると当たり前かもしれない。そうしたらこの数字が本当に現実になってくるかもしれない。

山内町は、2020 年 8,214 人が 2035 年 4,267 人になる。それが 15 年後に迫ってきている。

本当、何とかしないといけない。そういう気持ちでこの壇上にいつも立っています。立っている上に、今回は前倒しという数字が出て、それを計算したら、非現実ではなくて、これが現実になるのではないかと、本当に心配しています。

地域コミュニティが崩壊します。加速度的に地域が荒廃します。本当に心配している。だから、ここで何度も何度も言う中で、今度はさらに加速が増しているということで、今言わせていただいております。

2014 年に消滅可能性自治体、そういう言葉が出てきました。そのときは全国で 896 の自治体がなくなりますよということで、消滅可能性自治体が出てきました。

今年度の消滅可能性自治体が出てきました。その中で、市長が大学説明でよく使っている数字です。

そういう中で、前は 896 だったのに、今回は 744 になっている、全国。減ってるんですよ、消滅可能性自治体が。

なして、何で。見てみました。

それは、やっぱり 2014 年にそれが発表されたときに、本当、危機感を抱いて対策したところと、対策しなかったところの違いで、うちは消滅可能性自治体に入っていないから、別に対策しないでいいというところが、もう対策しなきゃいけない、そっちに入っちゃった。その違いだと思います。

今回提案するのは、人口減対策戦略会議。

これはちょっと全国の例で使わせてもらったんですけども、2014 年に 896 の自治体が発表されたときに、その自治体がこれをつくりました。半分かな、何割かがこれをつくって、対策しました。

対策して、消滅可能性が消えたところ。こういうのを置かず、対策をあまりしないで、小手先の対策しかなかったところは、さらにひどい状況になりました。

武雄市も全体としては、消滅可能性自治体には入りません。ただし、武雄町、朝日町以外は壊滅状態になります。ぜひ武雄市もこの人口減対策戦略会議等をつくって、そういう減のところの対策を行って、専門的といいますか、集中的に行っていただきたいと思います。

これを第一の質問にいたします。よろしくお願いします。

○議長（吉川里己君）

小松市長

○小松市長〔登壇〕

今、石破総理が地方創生に力を入れておられます。

地方創生というのは簡単に言うと、東京一極集中を防いで、そして、地方の人口減少を食い止めると、分かりやすくいうとそういうことだというふうに思います。

先ほど議員がおっしゃったように、大学の誘致についても、私はまず一番にその人口減少の話をしております。人口減少対策は、まさに喫緊の課題だというふうに思っています。

今回、通告で総合戦略というのを上げておられますけれども、なので、そのために総合戦略をつくって、その中の主要指標として人口数というのを入れているというのは、やっぱりそれだけ人口減に対する危機感の表れです。

ここについては、2050年に武雄市は3万6,000人になると。今から25年後、4人に1人いなくなりますよという話をいつも言っているんですけども、これが15年前倒しされるというのは、これは大変な、やっぱり危機感を持っていかなければならないと思っています。

そういった危機感をやっぱりみんなで共有して、行政だけではなくて、みんなでそこを乗り越えていくというためには、私はこの会議というのは意味があると思っています。

一つのやり方として、今、総合戦略の会議がありますので、それを発展していくというのはあると思っておりますので、そういったのをひとつ念頭において、ぜひこの会議の設置を考えていきたいと思います。

○議長（吉川里己君）

18番牟田議員

○18番（牟田勝浩君）〔登壇〕

もう設置を考えていくということをおっしゃっていただいて、今日の一般質問はここで終わってもいいというぐらいの気持ちです。本当にありがたい。

ぜひ危機感を持って取り扱ってきた自治体、小手先しかやっていなかった自治体の結果が、2024年で大きく分かれました。そのまま前回の発表で残っていたところ、今回の発表で新たに入ったところ、武雄市は絶対にそういうことがないように。

そして、武雄市全体もそうですけども、減る周辺部のお手伝い、山内町、北方町は途中で合併しました。合併して、クエスチョンマークと言われるよりも、合併してこうやって武雄市が助けてくれる、何とか我々のところも頑張ってくれる。

その他の町は、昭和29年に合併しました。そういう中で、衰退という言葉がずっと聞いてきた中で、今回、この戦略会議等で、本当に芯から見直していただける、考えていただける。ぜひこれを活用し、例えば何年前倒しが来ても大丈夫なような感じでやっていただければと

思いますし、今の市長の答弁に心より感謝いたします。

これ、世帯数の推移です。

すみません、武雄町、朝日町は抜いています。もう激増ですから。

橘町は、人口は 600 人減っているのに、世帯数は 1 割増えている。

若木町は、これも人口 600 人減っているのに、世帯数はほぼ変わらない。

東川登町は、人口も減って、世帯数も減っている。

西川登町もそうです。

山内町は、人口が 2,000 人減っているのに、5 %も世帯数が増えている。

北方町もそうです。

何でだろう。こういうのも、例えば戦略会議の中で話していただきたい。

多分、1 世帯から分かれていっているんですね。1 世帯から分かれて、その地域に家を建てるか住んでいるかという。

これはひとつ、言葉でいえば郷土愛ですよ。

「うさぎ追いしかの山、こぶな釣りしかの川」もう最近、卒業式でも歌わないですよ。

やっぱこういう郷土愛、この前、古賀議員が地域プライドみたいな感じで言われましたけれども、地域もやっぱりそういうふうなので、教育委員会ももっともっと——もう「故郷」って歌自体も今の子供知らないんじゃないですか。やっぱり、そういうのも担っていると思います。これはちょっと今、余談ですけども。

これ、分かれていっていると思います。地域愛で残っていらっしゃると思います。

ただし、この後に来るものは何か。

分かれた家族、世帯が分かれた。元から住んでいる独居、もしくは高齢者の家族、これが亡くなったときに、一気に空き家対策をしなきゃいけない。そういうのも読み取れてきます。こういうのも戦略会議とかで話していただきたい。ぜひそういうのも考えていっていただければと思います。

これをつくるということで言われていますけど、こういうのも話していただきたいんですけど、その手前にはやっぱりこういうのをいろいろ考えていただきたいというのがあります。

例えばライドシェア。

ライドシェアは、先ほど松尾初秋議員もおっしゃいました。これだけ金かけて、この効果なのかというところを、費用対効果のところを言われました。

古賀議員は、別のところで「いってくっけん」の 5,000 円の券のを言われました。

例えば古賀議員の地元の朝日町から武雄のまちにタクシーで行ったとしたら、5,000 円あったら 2.5 回往復できますよね。一律 5,000 円です。

じゃあ、私の地元、若木町とか、石橋議員の地元の西川登町からタクシーで行ったら、往復 5,000 円で足りませんか。1 回しか行けない。

だったら、周辺部のところは1万円にしますとか、2口買えますとか、そういうのに変えなきゃいけないんじゃないですか。それで地域に住むのに迷惑がかからない、持続が可能になると、そういうことを考えていかなきゃいけないんじゃないでしょうか。差がありますもん、同じ5,000円で。

下西山地区から武雄のまちなかまで来る、上西山地区から武雄のまちなかには1,000円で往復できるかもしれない。でも、田舎は1回しかできない、それで終わり。これじゃあやっぱりね、田舎は不便と言われますよ。

それを補完するのが行政。お金もかかります。

もう既にライドシェアみたいなことを田舎はやっているんですね。例えば民生委員。民生委員は、上田議員が質問されました。

民生委員は、近所の老人を、独居老人を車に乗せて行ったり来たりされていますよ。

一種のライドシェアじゃないですけども。

でも、それはお金は全く出ないんですね。ガソリン代、これだけ高くなったのに、お金は出ない。

ライドシェアも、武雄の観光とか、武雄からという頭は放って、外して、周辺部の買物難民、もしくは病院、そういう人たちのためのライドシェアを考えてみたらいかがでしょうか。

地域で、民生委員がやっていると今言いましたけど、民生委員はもう大変です。

ライドシェアの指定委員を決めて、その人たちが地域の人たちを送っていく。そのときに、このライドシェアを使う。

そういうふうな、例えば地域で買物に行くとか、病院に行くのに、そういうふうな、もう既に地域でライドシェアの人間を決めておいて、その人たちにタクシー会社から通じてやるとか、そういう考え方もできると思います。

いろんな考え方で、ライドシェアは駅からどこどこ、飲み屋街からどこどこ、飲み屋に行くのにどこどこ、駅に行くのにどこどこじゃなくて、そういうふうなライドシェアを周辺部、山間地、独居老人、免許証返納者のためにライドシェアを使う、そういう考え方もできると思います。

先ほど松尾議員が支払いどうするんだと。現金でって。

(資料提示) 僕、いつも使っているのがS u i c a っていうんですね。コンビニでもタクシーでもどこでも使えます。これ、チャージです。

だから、もしライドシェアとか、たけおP a y を伸ばしたいなら、このチャージ式のカードを作って、これはもうチャージですから、そういうのを使って使いやすくしていく。そういう考え方も、さっき言った戦略会議で話せばいい。

ライドシェア、これも地域がそういうふうになれるような、地域互助のためのライドシェアというのは考えられないのか、1番目、質問お願いします。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

武雄市内では、既に「道路運送法」第78条第2号の許可を得て、西川登町のかんころ号、それから、東川登町のしのめ号が、地元地域が実施主体となり、運行されております。

地域の方々が地域の移動手段の担い手になることも想定されますので、行政としてもそのような地域が事業主体となっていく移動手段の確保については、事業化に向けて地域とともに取り組んでまいりたいと存じます。

また、議員から御紹介いただきました支払い方法につきましても、多様化している現状から踏まえ、たけおP a yの活用だとか、チャージ式のカードをできる限り柔軟に対応してまいりたいと考えております。

○議長（吉川里己君）

18 番牟田議員

○18 番（牟田勝浩君）〔登壇〕

よろしくお願いします。

例えば民生委員を全員登録しておいて、そういうのに使ったときは民生委員さんにちゃんと報酬が行くみたいな感じでしていけば、民生委員にも負担が少なくなるんじゃないか。もしくは、そういうのでいろんなのができるんじゃないか。そういうことも考えていただければと思います。

では続けて、2 番のたけおP a y です。

たけおP a y なんですけども、たけおP a y というのは、今回、予算が出ている武雄プレミアムの券でも一緒なんですけども、大手しかもう買わないんですね。

一番取るのは地元じゃない大手スーパー、チェーン店、ドラッグストア。地域の商店とかでほとんど使われないで、逆にそっちのほうで使われると、地域の商店はマイナスになってしまうんですね。

うちもそうですよ、うちも商売やっていますから。端末置けないですよ。毎月これだけかかるというやつで、できないんですけども。

やっぱりたけおP a y にしても、もう一つのプレミアム商品券にしても、軽々に地方創生のお金が来たからって、市長の専決事項でぼんと出すのじゃなくて、やっぱり全体が助かるような形で実行してほしい、このたけおP a y にしても。

だって、大手スーパーとかチェーン店とかドラッグストアでの買物だったら、それは消費者はいいですよ。商売している方は、マイナスになるんですよ。

ぜひその辺を考えてやっていただければと思いますし、たけおP a y にしても、さっき言ったカードを作るとかなんとかやっていただきたいんですけども、いかがでしょうか。

○議長（吉川里己君）

山北企画部理事

○山北企画部理事〔登壇〕

たけおP a yにつきましては、今年度、構築しまして、運用を始めましたので、これは一部、市内全体の事業者様に恩恵が行くように考えていきたいと思ひますし、今後はチャージのほうもできるようにして、有効に使われるように検討していきたいと思ひます。

○議長（吉川里己君）

18 番牟田議員

○18 番（牟田勝浩君）〔登壇〕

続いて、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、これを使って、プレミアム商品券とか、たけおP a yをされているんですね。

先ほど市長が、石破総理が地方創生大臣の時の話をされました。地方創生大臣をされていたときに武雄からも行ったんですね。ここで行ったのは、豊村議員、上田議員、あと誰やったかな、一緒に地方創生大臣室で石破大臣といろいろ要望を話させていただきました。

そのときに、この地方創生交付金という話も出ました。

そういうことで、石破現総理は、当時の担当相の頃だったんですけども「武雄市としては何がしてほしい、どういうことをしたい、どれぐらいお金がかかるとか、そういうのをもっと明確に出してください」と。

そして、私がつくったこの地方創生交付金というのは――私も鳥取県出身ですと。できるだけ、地方がいろんなことができるような、幅が広い輪を広めての地方創生交付金という形で出すようにしています。

総理になられて内容が変わるということはあるんですけども、この地方創生臨時交付金、物価高騰に関して、何とでも言い訳が立つ、使いやすい交付金なんですね。

これからも地方創生交付金というのは出てきます。

そういう中で、いろんなメニューがある中、それこそさっき言いました戦略会議で、このお金はさっきのライドシェアのやつに使おうと、ライドシェアというのは周辺部のやつですね。

たけおP a y 何とかも周辺部のやつで、周辺部というか、人口減のところにやろう。

ややもすると、移住・定住、先ほど松尾初秋議員が言いました。そういうのにも使えるかもしれない、そこまで幅が広いかもしれない。

そういうのを使うと、結構なお金があるんですね、億以上の。だから、そういうのをを使って、やっぱりやっていただければと思ひます。

これに関してもいろんなことができると思ひますし、ぜひこういうのを使っていただきたい。

この後、定住策というところでおもうと思ったんですけども、例えばこういうのを使って、ここも古賀議員がおっしゃった、例えば地方に食料品とか日用品を届けるとくし丸とか、セブンあんしんお届け便、今一番困っていらっしゃるの、ガソリンが高くなったってことですよね。今まで往復 200 円のガソリン代で行けたのが、今、倍になってしまった。

そういうふうなのにこういうので支援事業という形で、ガソリン支援事業者指定みたいなのを、ガソリン代をして、ガソリン代高くなるとどうなるか分かりますね。商売の基本で、物品に上乗せされるだけなんです。もしくは自分の利益を減らす、どっちかなんです。

だから、そういうことがないよう、例えばこういうお金を使ってほしいという意味です。ぜひこういうものの活用をお願いしたいと思いますけども、いかがでしょうか。

○議長（吉川里己君）

松尾企画部長

○松尾企画部長〔登壇〕

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用するに当たり、事業を検討する中で、各部署から上がってきた課題や事業に対し、優先順位をつけて、交付金の活用を行っています。

今後、議員御意見の周辺部における事業費などの格差も考慮し、十分な検討を行って、実施していきます。

○議長（吉川里己君）

18 番牟田議員

○18 番（牟田勝浩君）〔登壇〕

ありがとうございます。

先ほどの市長の答弁の次にうれしい答弁でした。ありがとうございます。ぜひ実施していただければと思います。

では、4 番目、定住策。

定住策は、もうさっき松尾初秋議員もおっしゃいましたし、特にはないんですけども。

このモニター画像は、昔ですね、東京・有楽町で、武雄市の定住説明会のときに、我々議員も、議員というか、有志一同でお手伝いに行きました。

これは古川議員、当時の山崎鉄好議員。

これ、今一人座っていらっしゃいますけども、これお昼休みのときだったのでちょっと減ったんですけど、隣が大村市、佐世保市、その手前が佐賀市とか。

これも前、ここで言ったかもしれませんが。武雄市だけ列ができるんですね。ほかは、ぽつりぽつりしか来ないのですけども、武雄市だけ順番待ちで、整理券とは言いませんけども、それぐらい来ていた。

ぜひこういう定住策、先ほど答弁でもう言われたので、これ以上は言いませんけども、本

当、頑張っているんじゃないと思います。

動画も見ました。それと、やっぱり動画の中でも、いかにも来てくれというような、いい動画ができておりますし、PRもされていますし、定住の説明会等いろんなところに行って頑張られていると思います。

ぜひこの定住策、よろしくお願いしますとともに、前回12月で質問しました定住の区画をつけるときの補助金とか、そういう部分もぜひこの中でとか、他の補助金でできるような形で、例えば業者に1区画——これは鳥取県でしたかね、総理のお膝元の。1区画500万円の造成費用補助とかなんとか出てましたよね。

こうやって頑張っているんですよ。頑張って何とか抜け出そうとしているんですよ。そういうときに国のやつを使って、ぜひそういうふうなところで、消滅可能性、周辺部の町を助けていただければと思います。

定住策はさっき質問で答えられましたし、本当に頑張っているんじゃないので、期待をしていますので、よろしくお願いしますとともに、もう一つ、武雄市には「お結び課」というのがあります。

やっぱり結婚しないとなかなか子供というのができない、できないという言葉はちょっと語弊がありますので、ぜひ頑張ってください。

そういう定住、そして、結婚とかも一緒にセットで考えて、こういう補助金とかもいっぱい出して、武雄市に住んでいただけるよう努力をしていただければと思います。

これはもう、さっき松尾議員が質問されたので、この分の答弁は割愛したいと思います。

次は、農業問題で質問したいと思います。

農業問題で、耕作放棄地が本当に増えています。

これはもう、うちの地元だけではなく、中山間地を中心にでしたけども、今は平地でも、逆によく言う一等田なんかでもこういうふうな耕作放棄地が増えてきております。

これをどれぐらい把握されているのか、最初にお伺いしたいと思います。

○議長（吉川里己君）

木村農業委員会事務局長

○木村農業委員会事務局長〔登壇〕

モニターお願いします。

（モニター使用）議員お尋ねの耕作放棄地の面積ですが、農林業センサスでは、平成27年度までは調査が行われておりましたが、その後は実施されておられません。

現に耕作しておらず、かつ引き続き耕作されないと見込まれる農地を「農地法」上では「遊休農地」と言いますが、農業委員会では農業委員に毎年調査をしていただいておりますが、その面積がモニターに示しているとおりで、令和5年度で、武雄市の農地面積2,880ヘクタールに対し、11.4ヘクタールとなっております。

○議長（吉川里己君）

18 番 牟田議員

○18 番（牟田勝浩君）〔登壇〕

さっきの数字なんですけども、こんなもんじゃないですよ、実際は。やっぱり農業の分で耕作放棄地のきちんとした把握というのは必要だと思います。

耕作放棄地ができれば、何が出るか。

ここは少し刈ってあります。モニター画像のところは刈ってありますけども、水はけが悪くなる、水がたまる、もちろん草刈りもしなきゃいけない。

草が伸びたら害獣の巣になる。この近くで耕作されているところにも、ここから虫が飛ぶ。その耕作者も耕作意欲がなくなる。悪循環です。

ぜひ耕作放棄地に関しては、きちんとした把握をした上に、すみません、またそういう戦略会議とかなんとかで、そういうのに向けて話し合っていただければと思います。

農業は地域の基盤です。農業はある程度、国防だと思っています。国を守る、それはそういうふうな武器とかじゃなくて、きちんと日本の国土の保全を守ってくれている。そういう意味での国防だと思っています。

ぜひこういうのを把握して、対策をしてほしい。対策と言っても、国策なんですよ、これは。

これ、江原議員が昨日言われていました、1995 年に食管法というのがなくなりました。

食管法は、今まで国が買い上げて、安い価格で消費者に卸すというのをやっていましたけども、1995 年にそれをやめました。

これは 1965 年に木材の輸入の税率がゼロになって、それから山が死んだというのと同じぐらいのインパクトがあります。

じゃあ、今、世界を見ますと、どうなのかと。

アメリカは生産者価格を日本と同じように高い価格に設定して、買上げさせているんですね、生産者価格を。

E U、ヨーロッパはどうしているか。

E U、ヨーロッパは、農家のそういう小麦農家とか、そういうふうな農家に対して——かたやアメリカは最低価格保証をしている。E Uは農民の所得補償をしているんですよ。所得をこれだけにしているという補償をしています。

ですから、ほかの国は自給率 100%に向けて、いろんな、様々な手を取っているけど、日本はその逆を行っている。これはもう本当、国策ですから、何とも言えない。

でも、本音は、政府は最低労働賃金 1,500 円を目指しますとおっしゃっていますけれども、1,500 円なんてしたら、本当に地域の経済、減びますよね。人来ない、雇えないですよ。

さらに一方、米作農家は、ある人に試算させたら、時給 9 円ですよ。これじゃあいかん。

でも、国策だから、地方ではなかなか大きく変えることはできない。

だから、武雄市でできること、武雄市でこういうのを補完するのはどうことができるのか。

例えば江北町。この前、新聞に載りました。

田畑のそういうところの農業ラジコンの何ちゃらモア、僕忘れましたが。そういうのを購入し、そうやって、どこかに委託して、農業者の労力をこれ以上使わせないようにすることもやられています。これもひょっとすると、人口低下の方策の一つかもしれない。

ぜひこういうのを米作農家のために何かできないか。

例えばですけども、ふるさと納税の話が何回か出て、ふるさと納税で米 3,000 円じゃなくて、安く買うんじゃないくて、逆ざや、高く買って、高く売る。その送料は市が持つと。そういうふうな考え方もできます。農業者に高く払って、3,000 円のやつで売ると。送料は市が持つと。逆ざやで、利益は全くない、逆に足が出る。そういうふうなこともしないと、こういうお手伝いにならないと思います。

そういうふうな農業を、何かできるような政策を考えていただきたいですし、腹立つのは新聞、マスコミ。佐賀新聞ですよ、佐賀新聞。

米 5 キロ 4,000 円、もう確かにこれは、あおりですね。

昔ですね、今もそうですけども、米が足りないといって、スーパーの米のところ、何も置いてないところを写すんですね。あおっているんですよ。

昔、マスクがありませんって、マスク、倉庫にありません。トイレットペーパーがありませんって、この棚が空っぽのところばかり写す。あおっている。

逆に、トイレットペーパーがないなら、トイレットペーパー工場に行って、皆さん心配しないでください、これだけありますよって、安心させなきゃいけないけど、あおっている。

そいで、米 5 キロがいかにも悪。

さっき、前回の江原議員もちょっと言われました、大変です。確かに大変ですよ、消費者は。消費者は大変です、言った。

でも、農業者は、じゃあ、米 5 キロ 4,000 円で、時給 1,500 円もらえるか。もらえないです。これぐらいにやって、赤、黒ぐらいですよ。

もっと農業者、生産者の立場に立てば、米の価格は高くあってしかるべき。

それと消費者の間にやるのが国であり、行政だと思っています。ぜひこういうところを鑑みて、市でできること、ぜひ考えていただきたいと思います。いかがでしょうか。

○議長（吉川里己君）

小松市長

○小松市長〔登壇〕

お米については、私も先般、答弁をしましたがけれども、消費者からの立場、そして、生産

者からの立場、やはり両方を考えていかないといけないと思っています。

農業については、大変厳しい状況の中、とりわけ中山間地においてはイノシシとの戦いでもあったり、様々な、人口が減っている中で、手間も人一倍かかるということで御尽力いただいておりますし、今日の一つのテーマである周辺部、中山間地なんかは、やっぱり国土保全の最前線だと私も思います。

そこをしっかりとしていただいているから、平地の環境も成り立っているということで、本当に頭が下がる思いをしています。

これまで、やっぱり負担軽減ということで、農業は国策ではあるんですけども、市でも何かできないかということで、これまで、例えば議員の御意見であったり、いろんな声を聞いて負担軽減を図ってきました。

草刈り機械の購入補助とか、あと、畦畔ののり面を芝生化すれば、まさに一番大変な草刈りも、労力も減るということで、そういうアイデアも入れたり、いろいろやっています。

やはり市として、一気に大きく変えることはできないですけども、やっぱりそういった声を聞きながら、努力をずっと継続していくことが大事だと思っています。

なので、今後も引き続きいろいろな声を聞いて、そこはとにかく、いろんな取組を継続して重ねていくということをしていて、少しでも負担軽減につながるようにしていきたいと考えています。

○議長（吉川里己君）

18 番牟田議員

○18 番（牟田勝浩君）〔登壇〕

今日は3番目にうれしい答弁でしたね。

そうやっていただき、継続して負担を取り除き、さらに今度の当初予算にいろんな部分を肉づけしていただく。ぜひやっていただければと思います。

人口減の基本は、やっぱり農業、米作が駄目になったから、周辺部も減っていると思います。周辺部で米作って、2年作れば軽自動車も買えるよぐらいになっていたら、ひょっとすると田舎から出ていかないとずっといる、それで、入ってくる人もいます。要だと思いますし、国策ですから何とも言えないですけども、先ほどの市長の気持ちは、多分、テレビを見ていた人たちの周辺部の方に伝わったと思います。

ありがとうございます。

では、次行きます。

水害対策、これももういっぱい出ました。

一番最後の質問というのは楽でいいですね。もう皆さん、質問されていますから。

この中で水害対策。

この前、常襲水害地対策特別委員会で、近畿の大和川、特定都市河川の先輩といいますか、

先進事例の大和川を見に行きました。広大な遊水地が5か所、そのうち3か所は稼働し、2か所が今、建設中。見てきました。

田原本町の社会福祉協議会の地下にはパルテノン神殿みたいな水を入れるところ、見てきました。多分、その委員会の皆さん、みんな入りました。

私はその穴に入るか、入らないかぐらいだったので、スーツが破れました。

本当にでも、そうやって一生懸命やられています。

ところが、やっぱり六角川、何とかしなきゃいけない、そういう思いでいますけども、大和川の遊水地5か所、もしくは6か所に増やされているかもしれませんけども、その遊水の総トン数を含めても、この六角川調整池のほうが大きいんですね。

六角川調整池のほうが大きいということは、遊水地、大和川でやっている5か所、6か所のところを、10年、20年かけてやるのも並行して、ここのところをやれば早く済む。

これは一番最初を思い出しますけれども、2011年ぐらいだったですかね。山口昌宏議員が最初にここで質問をされて、それから始まったんですが、ちょっと年度は忘れましたけども、やっぱりそういうようなところで、ここはやっぱり要ですよ。

ぜひ強力に推進していただきたいですし、もう一つ、六角川水系、ため池203か所、保水力は750万トン。六角川水系には203か所の、武雄市には箇所があつて、保水が750万トンとされている。

一つの例で言うと、池ノ内ため池、宇宙科学館、うらり、あそこのところですね。あそこをしゅんせつすれば、もう20万トンから30万トンが増えるんですね、保水で。

20万トンですよ。20万トンと言えば、大和川のその貯水槽、遊水地の一番小さいのと同じぐらいですよ。

こういうところをやっていただきたい。

国交省でもそういう予算もつけていただきました。ちょうど、高市早苗議員のときだったですかね、総務省のときでしたかね。そういうふうな部分でやっていただきました。

ぜひそういうのを使って——普通、ため池とか農のほうは、受益者負担がかかるんですね。

でも、国土強靱化の名の下にそういうことをやれば、受益者、農業者への負担もかからない。

今言いました、池ノ内ため池だけでもしゅんせつすれば、20万トンから30万トンの貯水ができる。ぜひこれも進めていただきたい。ほかのところも15%しゅんせつすれば、100万トン以上の保水力が出てくる。

そういうのをぜひ、国土強靱化の補助金、国、県と合わせてやっていただければと思います。

あと、いつも言っている保水性アスファルト。

もうこいから先は、どのアスファルトをするときも保水性アスファルトであれば、それだ

けで何万トンかになると思います。

ぜひこの3つやっていただきたい。さらに強く進めてやっていただきたいんですけども、いかがでしょうか。

○議長（吉川里己君）

庭木まちづくり部長

○庭木まちづくり部長〔登壇〕

まず、六角川洪水調整池の整備につきましては、現在、河道付け替えが行われておりまして、それに並行いたしまして、採石業者様との用地についての交渉も進んでおります。

今後も整備の早期実現に向け、国、県、市で協力しながら、さらなるスピード感を持って事業推進を図ってまいります。

それから、2点目の農業用ため池のしゅんせつにつきましては、これまで緊急浚渫推進事業債を活用して実施してまいりました。

この起債事業は令和6年度までの事業であり、令和5年度から令和6年度の2か年で計10か所のしゅんせつ工事を行っております。

先般、総務省が発表いたしました新年度予算において、令和7年度から令和11年度までの事業延長措置が示されております。

今後も新たな事業計画箇所を整理し、さらなる事業推進を図ってまいりたいと存じます。

最後の御質問の保水性アスファルト舗装につきましても、有効な治水対策の手段と考えております。

今後、庁舎内外での連携を図り、公共施設等の整備や舗装工事を行う際には、可能な場所で取り組んでまいりたいと考えております。

○議長（吉川里己君）

18番牟田議員

○18番（牟田勝浩君）〔登壇〕

この保水性アスファルト、前も言いましたけども、ヒートアイランド現象にも有効な手段ですので、去年のごとぬっかったらもうたまらんですよね、アスファルトの上で。そういうのにも有効ですので、ぜひ拡大していただければと思います。

では、最後の質疑ですけども、特産品開発。これはもう、いつも言いますけども、これ、質問する理由というのが、去年の決算の時か何かのときに、キュウリのレシピとかパンフレット、そういうのを作るのに、大体100万円以上使っているんですね。そのときにちょっと指摘したのが、キュウリもいいけど、ほかにも特産あるんじゃないということで聞きました。そっちもやっていますということ。キュウリは大体100万円ぐらいかけているけど、そっちの若楠ポークとかそういうのは大体1万円ぐらいしかやっていないと。

キュウリもいいですよ。古賀議員が今回の質問でも、キュウリのやつをいっぱい言ってい

いただきました。

キュウリもいいです。キュウリも並行して、やっぱりこういうのも卸さなきゃいけないから。武雄で何々を食べようと卸すと。嬉野のやつと、何だっけ、豆腐か、豆腐とか、伊万里は伊万里牛を食べよう、伊万里市は新幹線ないですけども、そういうのがあるかもしれない。だから、そういうのをやっていただきたい。

大豆もいいかもしれないけど、やっぱりこういう特産品があるから、やっぱり卸さなきゃ。食ですよ、メインディッシュですよ。

何か言い方が松尾議員みたいになってきましたけども、やっぱりそういうふうな感じで、やっぱり作らないといけない。

二千十何年までは、武雄市には特産品部会というのが設置されていました。市からも 20 万円から 30 万円の特産品部会への補助が出ていました。

改めて新幹線が出た今、そういうふうな補助を、特産品部会を、考えるところをやらなきゃいけないと思いますし、武雄市の、ハブだけど、ハブに終わらず、下りていただくというところに、この食は大切だと思います。

ぜひこの辺のところの御意見、そしてお考えをお聞かせいただきたいと思います。

○議長（吉川里己君）

山崎営業部長

○山崎営業部長〔登壇〕

観光客の方についてというところになりますけれども、その地域ならではの特産品を求められることが多く、特産品は観光の魅力を高める要素の一つというふうに考えております。

特産品が話題になり、SNSや口コミで広まることで、さらなる観光客の誘致につながる可能性もあると考えております。

これまでも観光誘客チャレンジ補助金を活用し、先ほど御紹介いただきました高オレイン酸大豆やクラフトビールの商品開発などを支援しております。

引き続き、特産品開発が誘客につながるような取組を行う事業者に積極的な支援をしていきたいと考えております。

○議長（吉川里己君）

18 番牟田議員

○18 番（牟田勝浩君）〔登壇〕

年度が始まる前の当初予算のときに、本当にいろいろ答弁で、力づけられる答弁をいただきました。

ぜひ今度の当初予算に肉付けをしていただいて、実行していただければと思います。

1 にも 2 にも 3 にも 4 にも、今日の市長のそういう人口減戦略会議の設置というのが本当にうれしく、そして本当に重要だと思っております。ぜひこれを実行していただいて、周辺

部。これね、多分ね、こうやって入っていないところはつくっていないですね。多分、全国で初めてだと思います、こういうところでそういう会議をつくるのは。ぜひ実施して、減るところがもう分かっているのですね。

それと、15 年前倒しとなりましたけども、これがひょっとすると来年になると 20 年になるかもしれない。

ぜひ今のうちに手を付けて、対案をしていただければと思います。

質問を終了します。

○議長（吉川里己君）

以上で 18 番牟田議員の質問を終了させていただきます。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

本日はここで散会いたします。

散 会 11時52分